

# 上田市

わがまち魅力アップ応援事業

活力あるまちづくり支援金

令和2年度 事例集



上田市

# 目次

## はじめに

- わがまち魅力アップ応援事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8P
- 本冊子の解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9P

## 実施事例

### ◇全市域◇

- 蚕・繭・真綿・紬・絹の普及活動(信州上田繭クラブ「繭友」)・・・・・・・・ 12P
- 手塚治虫氏のルーツを探り上田を再発見する事業(アトムの会)・・・・・・・・ 13P
- いざというときのそらいろぱれっと事業(そらいろぱれっと)・・・・・・・・ 14P
- 上田市民の音楽促進交流事業(上田プラスフェスト実行委員会)・・・・・・・・ 15P
- うえだスマイルフェスタ(うえだスマイルフェスタ実行委員会)・・・・・・・・ 16P
- パパママ子どもたちが生き生き出来る地域作り(ペルメルベーベ)・・・・・・・・ 17P
- 聴くよろこび 知るたのしさ 名曲たちとの出会い～上田市民の「聴く文化」を育て、  
上田市の文化力をアップする～(クラシック音楽に親しむ講座の会)・・・・ 18P
- 写真家柴崎高陽の世界と上田市の写真文化を伝える(柴崎高陽顕彰会)・・・・ 19P
- 北国街道を学び・歩き・伝えるプロジェクト(信州上田北国街道振興会)・・・・ 20P
- 太郎山山系にある山城を知ってもらおう事業(太郎山山系を楽しくつくる会)・ 21P

### ◇上田中央地域◇

- 市街地に復活したホテルを安全に見学できるインフラとホテル環境の整備  
(押出川流域自治会連合会)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22P
- 山本鼎提唱 100年「その歩みを未来へ伝える運動」(神川・山本鼎の会)・ 23P

### ◇上田西部地域◇

- 心がやすらぐ道づくり(花いっぱい会の会)・・・・・・・・・・・・・・・・ 24P
- 運動・食・社会参加で元気西部！！(NPO 法人健康サポートまごの手)・・・・ 25P

## ◇上田城南地域◇

- 諏訪形誌刊行事業(諏訪形誌刊行委員会)・・・26P
- 地域の魅力発信と学びの場づくり事業(千曲川清流会)・・・27P

## ◇神科・豊殿地域◇

- 「金井自治会住民三世代が連帯感を持ち助け合えるための」事業  
(金井若草文庫)・・・28P
- 「高齢化社会に荒廃里山を活用し健康寿命を延ばす魅力ある地域づくり」事業  
(金剛寺自治会)・・・29P
- 「矢沢城跡公園整備と地域活性化」事業(矢沢城跡さくら会)・・・30P
- 「ふれあいサロン 地域住民の交流の場づくり」事業  
(豊殿ふれあいサロン運営委員会)・・・31P
- 「岩門城跡整備」事業(岩門自治会)・・・32P
- 「伊勢崎城跡の整備並びに神科東部観光ガイドマップの刊行及び活用」事業  
(伊勢崎城跡復興会)・・・33P

## ◇塩田地域◇

- 歴史の径整備と石神 150 年史の作成事業(石神自治会)・・・34P
- 塩田地域生涯健康いきいき事業(NPO 法人うえだミックススポーツクラブ)・35P
- 信州の鎌倉・塩田平ため池群魅力アッププロジェクト  
(塩田平のため池を愛する会)・・・36P
- 十人ふれあい公園整備事業(十人自治会)・・・37P
- 保野地域内の景観と花、史跡を巡る遊歩道、散歩道のモデルコースを選定し、  
コース周辺に案内板、標柱等を設置し整備を進める事業  
(保野歴史研究会)・・・38P
- 手洗池の魅力アップ(山野草の環境保護とウォーキングコースの整備)事業  
(柳沢自治会)・・・39P

## ◇川西地域◇

- 「農村体験」交流事業(川西里山ぐらし)・・・40P
- 古民家を活用する里山ぐらし体験交流事業  
(NPO 法人うるわしの里)・・・41P
- 越日向山等里山整備と里山保全活動(越戸自治会)・・・42P

## ◇丸子地域◇

- シルク繁栄今昔物語事業(中丸子歴史研究会)・・・・・・・・・・43P
- 子ども相撲&盆踊り地域交流事業(石井夏祭り実行委員会)・・・・・・・・44P
- 上田地域防災・減災対策自助事業(上田市防災士等連絡協議会)・・・・・・・・45P
- 雷電為右衛門学び舎の郷(長瀬村)(雷電為右衛門実行委員会)・・・・・・・・46P
- 深山古民家コンサート事業(「深山古民家コンサート」を支援する会)・・・・・・・・47P
- 荒廃竹林の活性化事業(辰ノ口竹林活性化プロジェクト)・・・・・・・・48P
- 歴史と未来あふれる塩川地区の魅力を見直し・発信する事業  
(塩川地区地域づくりの会)・・・・・・・・・・49P
- 外国籍住民と共に防災、減災を考える(ゆうあいまるこ)・・・・・・・・50P
- 雅楽の魅力紹介事業(雅楽の魅力を広める会)・・・・・・・・・・51P
- 腰越ふしぎ発見探検隊(腰越村記録の会)・・・・・・・・・・52P
- 西内・平井地域歴史を学び伝える事業(内村の歴史を学び伝える会)・・・・・・・・53P

## ◇真田地域◇

- 石舟地域の歴史遺産を活用した住民交流活性化事業(ふるさとづくり事業)  
(石舟自治会)・・・・・・・・・・54P

## ◇武石地域◇(令和2年度事業実施団体なし)

## 資料編

- 令和2年度実施事業の一覧表・・・・・・・・・・56P
- これまでの補助実績・・・・・・・・・・61P
- 事務局一覧表(問合せ先)・・・・・・・・・・66P

# ～活力あるまちづくり支援金～

## はじめに

活力あるまちづくり支援金の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・70P

## 実施事例

- 乙女が編む「うえだ乙女百人一首」で、地元上田の活力アップ応援事業  
(うえだ乙女)・・・・・・・・・・・・・・・・・・72P
- 地域こどもICT活性化推進プロジェクト  
(こどもICT活性化推進委員会)・・・・・・・・・・73P

## 資料編

令和2年度実施事業の一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・76P  
これまでの補助実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・76P

**上田市**

**わがまち魅力アップ応援事業**

**令和2年度 事例集**



**上田市**

はじめに

# わがまち魅力アップ応援事業の概要

## わがまち魅力アップ応援事業の補助制度について

わがまち魅力アップ応援事業は、地域内分権の確立に向けた取組を進める中で、市民の皆さん自らの創意工夫により地域の魅力を高め、市民の交流を促進する自主的・主体的な取組に対して市が支援する補助制度として平成 20 年度にスタートしました。

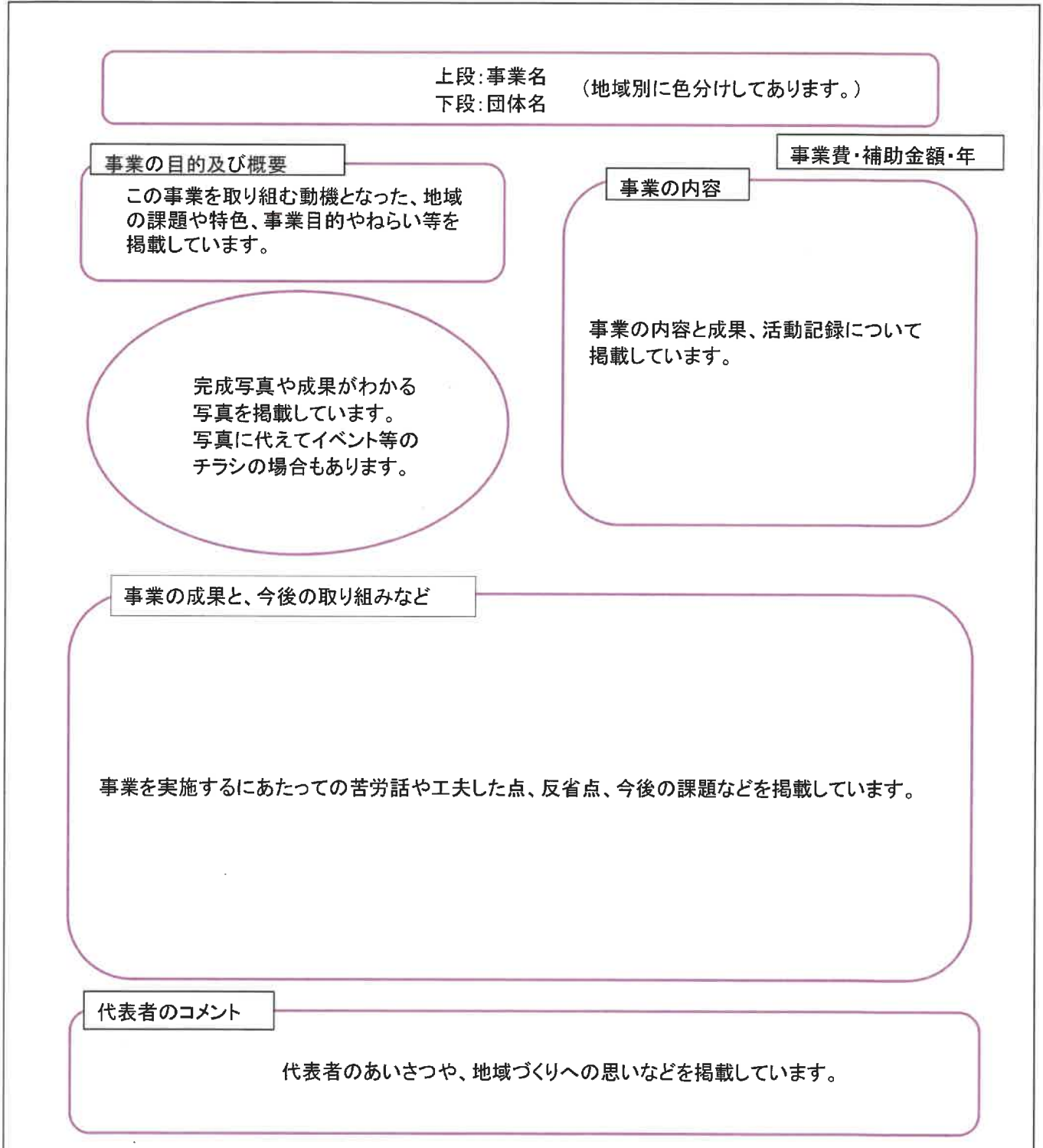
事業の採択に際しては、市内 9 地域に設置された地域協議会において、公益性や継続性等の観点から住民目線で審査を行っていただいております。これまで数多くの自治会や市民活動団体が本制度を活用し、様々な分野にわたり事業が展開され、地域活性化に大きな成果を上げてまいりました。令和 2 年度には年間 60 件の申請がありすべて採択され、うち 43 件の事業が実施されました。

※制度概要は P 6 1 をご覧ください。



# 本冊子の解説

○令和2年度 補助事業実施団体からの実績報告を基に作成した本冊子の基本となる構成





# 实施事例



## 蚕・繭・真綿・紬・絹の普及活動 (信州上田繭クラブ「繭友」)

事業費 298,176 円 補助金額 297,000 円 5/5 年目

### 事業の目的及び概要

私たちは養蚕から携わり繭からの糸作りや作品づくりをしていますが、真綿・生糸・絹織物作りを市民の教育や生活の中へ普及する活動を通じて興味関心を高め、「蚕都上田」の伝統と文化の継承、ならびに活性化につなげることを目的としています。

### 事業の内容

- ・上田紬の糸の成り立ちという観点からの講習会を市民向けに開催。
- ・子どもたちに対して体験学習の実施や、各方面からの要請に応じられるように体制を整える。
- ・サントミュージゼにて展示会「繭に魅せられて～養蚕から織へ・繭友 5年間の歩み～」を開催。
  1. 養蚕の始まりから繭を収穫するまでの写真パネル展示
  2. 繭を使った座繰り体験、角真綿作り体験、糸の展示
  3. 繭クラフト展示
  4. ビデオ上映「皇后陛下の御養蚕」
  5. 上田産の糸を使って上田紬を制作した作家の講演及び着物展示



蚕の一生



子供が真綿作りの体験

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・養蚕から地元産繭を使って生糸作り、真綿作り、小物作りを行い「蚕都上田」としての繭文化を伝える活動ができました。また、小学校からの要請を受け、出張授業で座繰りや真綿作りの実演を行い、子どもたちに繭文化を知ってもらうことができました。
- ・サントミュージゼでの展示会では 450 人が参加し、多くの方に体験などを通して、蚕都上田の文化に触れ、知ってもらい、繭の魅力を伝えることができました。また来場者から、繭って素晴らしい。将来繭に関する仕事をしたい。などたくさんの素敵な感想をいただきました。

#### 今後の取り組み

- ・今後も地域の伝統である繭文化を子どもから大人まで伝える活動をしていきたい。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、作業をする会場の確保が困難でした。

### 代表者のコメント

当初の計画通り講習会を開催できませんでしたが、サントミュージゼでの発表「繭に魅せられて」は 450 人が参加し、市民へのアピールができました。

## 手塚治虫氏のルーツを探り上田を再発見する事業 (アトムの子)

事業費 567,230 円 補助金額 567,000 円 2/5 年目

### 事業の目的及び概要

手塚治虫氏のルーツが上田にあること。「世界の手塚治虫」であることを周知し、地域の人々に愛着と誇りを持ってもらうことを目指しています。

### 事業の内容

#### 講演会

- ・手塚眞氏の「ばるばら」、「白痴」、「手塚治虫、アニメ 5 作品」の協力・支援。
- ・アトム役の清水マリさん（声優）の講演を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。



### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・手塚眞氏映画作品、「手塚治虫、アニメ 5 作品」の集客に成功しました。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・コロナ禍のため、計画通り例会が開催できず、手塚治虫氏分析本の許認可が得られず難航しました。

### 代表者のコメント

他団体と提携し、力強い歩みが始められました。信州上田、塩田平の日本遺産ガイドにも積極的に参加する予定です。

## いざというときのそらいろぱれっと事業 (そらいろぱれっと)

事業費 320,632 円 補助金額 260,000 円 2/3 年目

### 事業の目的及び概要

年々不登校の子どもが増えており、その一因として発達障害による生きづらさの表れも示唆されています。

困っている親子が相談や気楽に話せる環境を用意することで親子の孤立感を減らすことが可能となります。親子だけで抱え込んで関係性が悪くなると虐待のリスクにもつながってしまいます。民間団体が取り組むことでサポートの入り口を作りたいと考えました。



専門家による発達の  
講座の様子

### 事業の内容

親子が相談や気軽に話せる場を作る

- ・発達の状態などにより、丁寧な関わりが重要とする子どもたちの環境調整（おしゃべり会、基礎感覚遊びの会 月 1 回）
- ・専門家によるアセスメント、療育指導（年 2 回）
- ・地域への理解啓発を含めた講演会（1 回）
- ・セルフケアに関わる、子どもと大人の関わり支援プログラムの提供（ストレングス・トーク@WS（月 1 回）
- ・上記活動の他、今年度の活動の結果、立ち上がった「こどもとおとなの居間だらっと」の活動への支援、個別相談事業などの拡充



感覚遊びの会の様子

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

・今年度はコロナ禍において、ストレングス・トーク WS と講演会等は会場手配が公的機関を始め、制限がかかった事から開催中止や講演内容の変更がありました。しかし、前年度の活動の結果でもある居場所事業の後方支援・個別相談支援・ケースワークについて深刻な生活相談対応が相次ぎました。その意味では、事業の骨子である「いざというときのそらいろぱれっと事業」として大きく寄与できた部分があったと考えており、社会的な課題を明らかにし、学校との連携も増え、継続できました。

#### 苦労した点、工夫した点

・おしゃべり会は休校中の 4 月は 3 回オンライン開催で対応しました。人数は数名単位でしたが全国から SNS を通して参加申し込みもあり、他地域との情報交換の機会も多く作ることができました。感覚遊びの会は、テーマに興味のある保護者らに開催協力スタッフとして学びの場を提供することでエンパワメントの機会を作りました。その際、会場の確保に苦労しました。いつ休館するか不透明なことや、クラスターの心配から他団体には貸せないといった施設もあり、確実に開催できる場所での開催とおしゃべり会と感覚遊びの会は同日開催、個別療育セッションはオンライン開催という苦渋の判断をせざるを得ませんでした。

### 代表者のコメント

私たちは常に、誰も置き去りにしたくないと決意した活動をしつつ、それでも目の前にいない誰かを置き去りにしてきたと自覚しながら進んできました。それは本当に辛い時に「誰にも言えない・言わない」と心に決める瞬間があると体験してきたからです。今後は新しい枠組みの中で継続していきますので、引き続き温かくお見守りいただけましたら幸いです。

## 上田市民の音楽促進交流事業 (上田ブラسفエスト実行委員会)

事業費 409,282 円 補助金額 309,000 円 2/3 年目

### 事業の目的及び概要

管打楽器を演奏する小中高の学生や一般の管打楽器愛好家、市内在住又は出身のプロが一堂に集まり、音楽祭を行うことで、市民に吹奏楽や管打楽器の魅力伝え、音楽を通して地域交流を図る。また、普段音楽に関わりのない方にも音楽やコンサートの楽しさや魅力を再発見するきっかけを作りたい。



様々な打楽器を用いた迫力のあるパフォーマンス

### 事業の内容

アウトリーチ（参加型コンサート）

第4回公演 2020年10月31日「みんなでたのしむ打楽器3重奏の世界」

第1回上田ブラسفエストは新型コロナウイルス感染症の影響により、来年度に延期。



参加型プログラムの様子。「リズム遊び」をお客様にも参加してもらいました。

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

・新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していたイベントは半分しかできないうえに、来場者数も制限したため、満足のいく公演はできませんでした。それでも、東京吹奏楽団のメンバーや上田市にゆかりのあるプロ奏者による打楽器三重奏のコンサートを楽しみに聴きにいられたお客様からは、楽しんでいただけた声を多く聞くことができました。

#### 今後の取り組み

・上田市の音楽発展のため、事業を継続できるよう努力していきたいです。

### 代表者のコメント

コロナ禍でのイベント開催は、リスクも多く今まで経験のないことで大変苦労しました。感染症対策を始め、チラシのデザイン変更や印刷の刷り直しなど予期せぬことへの対応に追われ、緊張感のある公演開催となりました。しかし、実際に開催できた公演では、お客様から「元気をもたらした」「とても感動した」という好評の声を多くいただき、思い切っただけで開催してよかったです。

## うえだスマイルフェスタ (うえだスマイルフェスタ実行委員会)

事業費 9,754 円 補助金額 9,000 円 3/5 年目

### 事業の目的及び概要

主に地域の小学生と保護者をターゲットに、地域内の身近な文化や大人と交流できる場をつくる。身近にある魅力や、人の生き方、働き方を体験し、自分の将来を考えるきっかけや、「上田って何だか楽しい」「今後、上田で何かしてみたい」と考えるきっかけになればと考えています。

### 事業の内容

#### うえだスマイルフェスタ

- ・地域の小学生が上田地域の様々なシゴトやオトナと出会い、体感できる場所として、「お仕事体験ブース」を設置。
- ・養蜂家、花屋、鉄道会社のほか、上田紬やこっぱ人形などの伝統美術の体験。
- ・ヒカル工作体験では、上田女子短期大学の保育学科の生徒と一緒にデザイン決定から当日の指導までを共同で行う。

※直前まで開催方法を模索して準備を行ったが、新型コロナウイルス感染状況により延期。

### 開催チラシ



中止チラシ

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 今後の取り組み

- ・次年度は、まだ新型コロナウイルス感染症の影響があることを考慮して、野外をメインにうえだスマイルフェスタを開催する予定です。子どもたちが対象となるため、気候や体調に配慮して実施できるよう計画しています。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・前回のイベントで、企業に協力していただいた実績を踏まえて新たな企業に協力を依頼して回りました。

### 代表者のコメント

これから5年10年、地域のヒトやモノが繋がりに関わり合える場所として、定着し必要とされる存在になれるよう引き続き頑張っていきます。

## パパママ子どもたちが生き生き出来る地域作り (ペルメルベエ)

事業費 37,101 円 補助金額 30,000 円 5/5 年目

### 事業の目的及び概要

現在、多くの地域で子育てに対する不安や負担感を抱える親が増えています。地域の活性化に欠かせない子どもたちが輝くためには、子どもを育てる親たちが生き生きしていることが重要です。おじいさんやおばあさんなど多世代を巻き込んで、親子が楽しめるイベントや育児に関する講演会等、ハッピーな育児を応援する活動を通して、育児不安を解消し、次世代にも希望をもたせるような地域づくりに貢献する。

### 事業の内容

#### 子育て座談会

- ・2020.5.27 ・ 2020.7.22 ZOOM で開催
- ・2020.11.25 ・ 2021.1.27 西部公民館で開催

#### パパママフェスタ

- ・新型コロナウイルスの影響により中止
- クリスマスコンサート
- ・新型コロナウイルスの影響により中止



座談会の様子



### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

・柱の事業であるパパママフェスタとクリスマスコンサートをやむを得ず中止しました。子育て座談会については何とか開催しようと内部で話し合った結果、ZOOM を活用し開催することができました。参加者から「ネットでなく対面の方が、子育てに関する不安等をしっかり話すことできる」という声もいただき、改めて対面でできることへのありがたみを感じました。

#### 今後の取り組み

・これまでの実績や経験を活かして法人化も視野に入れながら、パパママフェスタやクリスマスコンサート、子育て座談会を開催していきたいです。また、メンバーの子どもたちがだんだんと成長してくるので、若い世代を巻き込みながら次世代へバトンタッチしていくことも考えたい。

#### 苦労した点、工夫した点

・新型コロナウイルスの影響による事業・日程の調整に苦労しました。

### 代表者のコメント

大変なことや辛いことはたくさんありましたが、振り返ってみると、あっという間の5年間でした。この補助金制度があったからこそ、自分たちの思いを実現することができましたし、少しは上田市の地域づくりに貢献できたかなと思います。



聴くよろこび 知るたのしさ 名曲たちとの出会い  
 ～上田市民の「聴く文化」を育て、上田市民の文化力をアップする～  
 (クラシック音楽に親しむ講座の会)

事業費 944,520 円 補助金額 500,000 円 3/5 年目

事業の目的及び概要

ひとりでも多くの人に、クラシック音楽を聴くことを日々の楽しみにしてほしい。

世界の音楽家紙芝居というツールを使い、作曲家の人生にふれながら音楽を楽しみ、ホールでの本格的なコンサートへも足を運ぶようになってもらいたい。



事業の内容

アンサンブルコンサートの開催

- ・プレ企画として、コンサート「チェロの話 宮沢賢治が愛した楽器」に先立ち、宮沢賢治作品の朗読と世界の音楽家紙芝居「ベートーベン」をスクリーンに投影し、語り手によって生の舞台をあげてもらおう。
- ・このコンサートでは、声優による朗読を加え、宮沢賢治が愛したチェロ 4 本によるアンサンブルコンサートを行いました。



事業の成果、今後の取り組みなど

成果

・プレ企画は、地域の公民館での紙芝居コンサートとして定着してきたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、広いサントミュージゼでの開催としました。上田自由塾「楽しい朗読の会」のみなさんの熱演により、大変盛り上がりました。

入場無料としたところ、申し込みがたくさんあり、興味を持った人たちに集まってもらうことができました。

・コンサートについては、入場制限 160 名の小ホールが満員となりました。宮沢賢治の世界をおおいに楽しんでもらい、チェロの生の音色と重奏を堪能してもらいました。

苦労した点、工夫した点

・コロナ対策を講じながらの人集め、コンサート開催で、入場の際の人の整理や検温・消毒などに気を遣いました。

代表者のコメント

「クラシック音楽のコンサートは人が集まらない」という概念は、工夫次第で打破できることを知ることができました。市民が興味を持ちそうな面白い企画を考えることが大事であることと、コンサート開催を継続していくことで、クラシック音楽を楽しむ層が厚くなっていくことを感じました。

## 写真家柴崎高陽の世界と上田市の写真文化を伝える (柴崎高陽顕彰会)

事業費 996,663 円 補助金額 996,000 円 3/3 年目

### 事業の目的及び概要

上田市の写真文化の先駆者、柴崎高陽氏の功績を顕彰し、ふるさとを撮りつづけた高陽氏のように、私達の住む郷土に愛着心と誇りを持つよう啓蒙する。

### 事業の内容

令和 3 年 2 月に柴崎高陽氏の生い立ちや、写真家としての活動や撮影時のエピソードをまとめた資料集を作成し、市内小中学校、公民館、図書館等へ配布。



完成した資料集



観音寺 たいまつ祭り 昭和40年秋祭りの行事の一つ。芝居場がわいばつた手に掛けたり、籠籠りへ投げ込まれるまでにはこれだけの燃費のたいまつは燃やして燃やさない。



上田城跡公園の桜 1953年徳門の由来石蔵の上田城。今も昔も変わらない千本桜で毎年秋山の観光客が訪れています。近年では7月1日入陣ラッパ轟出の20分間で一年通して野山の観光客が訪れます。

資料集の写真

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

・資料集作成にあたり、昨年と同じ講師の方に依頼するつもりでしたが、都合が悪く依頼することができませんでした。しかし、柴崎高陽氏の甥にあたる坂口氏から新しい資料の提供があり、作成を進め、完成することができました。

#### 苦労した点、工夫した点

・新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ず講演会は中止としました。

### 代表者のコメント

新型コロナウイルス感染症のため、講演会の開催ができなかったのが残念です。新しい資料の発見など今後も検証していきたいと思えます。

## 北国街道を学び・歩き・伝えるプロジェクト (信州上田北国街道振興会)

事業費 440,000 円 補助金額 421,000 円 2/3 年目

### 事業の目的及び概要

上田市が進める信州上田学の目的にある「持続可能な地域の創出に向け、地域に脈々と受け継がれてきた歴史、文化、自然、風土、産業等を「学ぶ」こと」にのっとり、北陸道と中山道を結ぶ旧街道である北国街道に焦点をあて、周辺地域の活性化に寄与する。

まちあるきの様子



### 事業の内容

#### 信州上田北国街道探訪 事前準備活動

・北国街道探訪用地図作成、北国街道に関するインターネットを使ったデータ作成、まちあるき準備など

#### 信州上田北国街道探訪・まちあるき 事前調査

・旧北国街道 西友秋和店から諏訪形まで  
・旧北国街道 西友秋和店から下塩尻まで

#### マップ作成

・レイアウト検討、マップ用写真のピックアップ、キャプション作成

#### HP 信州上田北国街道 新規ページ作成

・HP 制作の方と打ち合わせを積み重ねながら、学生たちが作業したマップのデータやメンバーが撮影したデータが活用できるように取り組みました。



### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・長野大学の学生と継続的に取り組むことにより、次の世代に旧北国街道の魅力を伝えることができました。
- ・令和 2 年度の歴史的なものや現代にある店舗や施設などを記録しデータとして残しておくことで、未来の上田に住む方々に必要な情報を残すことができました。
- ・ホームページの情報を更新し、上田市内の旧北国街道についてさらに情報を発信することができました。

#### 今後の取り組み

- ・来年度は今年度実施できなかった秋和・塩尻地域の座学やまち歩きを実施しながら、学生たちを対象とした講座やまち歩きなどは継続して開催を目指していきたいです。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い活動が停滞してしまい、どの時点で元に戻せるのか判断するのが大変難しい状況でした。

### 代表者のコメント

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りながらどうやって活動するのか模索する 1 年でした。しかしながら、そういった状況下でも、外出機会が少なくなってしまう長野大学の学生と、継続的に活動ができたことはよかったです。今回の活動を通じて旧北国街道の歴史に目を向けつつも、いつも近くにあるものでも、魅力的なもの、面白いものとして、街道沿いにあるものを多くの人々に感じてもらいたいと思います。

## 太郎山山系にある山城を知ってもらう事業 (太郎山山系を楽しくつくる会)

事業費 761,172 円 補助金額 761,000 円 5/5 年目

### 事業の目的及び概要

- ・村上連珠砦（各山城跡）の整備と近辺の山城探求。
- ・登山者が容易に登れるよう、要所になる山城に通ずる登山道整備。
- ・要所になる山城跡の整備と看板設置し、観光資源とする。



登山道ごみ収集の様子

### 事業の内容

- ・4 月秋和飯綱城跡、登山道、ゴミ整備（秋和自治会と協働）
- ・4 月花古屋城跡、牛伏城跡の倒木整備
- ・4 月豊城探索（太郎山保存会と）
- ・6 月縦走路、秋和地籍のロープ張り
- ・6 月第 33 回縦走路整備（虚空蔵山～西峠間）雨天のため有志 5 名参加
- ・7 月虚空蔵山城跡の整備（上塩尻自治会と協働）
- ・8 月和合城跡の整備 和合城保存会 6 名含む 8 名参加
- ・9 月第 34 回縦走路整備（虚空蔵山東側）21 名参加
- ・9 月花古屋城跡の倒木整備（業者依頼 立合い）
- ・10 月全国山城サミット上田、坂城大会（エクスカッション協力）
- ・11 月第 32 回縦走路トレッキング（四十八曲りコース）39 名参加
- ・12 月緑が丘コースの倒木整備
- ・1 月四十八曲りコース・白蛇コース倒木整備 観光課付添
- ・3 月太郎山山系を楽しくつくる会 山岳講演会



上塩尻付近でのトレッキングの様子

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 今後の取り組み

- ・登山道、山城は毎年整備が必要であるため、継続していきます。
- ・今後、松枯れ対策が必要であるため、新たに取り組んでいきたいです。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・例年松枯れにて倒木が多発しているため、整備回数が増加した。

### 代表者のコメント

縦走路、登山道整備、山城整備は終わりのない事業です。全国山城サミットを契機に地元の里山を守りましょう。

## 市街地に復活したホタルを安全に見学できるインフラとホタル環境の整備 (押出川流域自治会連合会)

事業費 510,416 円 補助金額 510,000 円 2/2 年目

### 事業の目的及び概要

安全にホタルの発生場所に誘導できるインフラ作り、ホタル水路の環境改善と健康プラザ駐車場からの車のライトの軽減対策などホタル環境を整える。



現在の見どころを確認でき、迷わず現地まで行けます。

### 事業の内容

インフラとホタル環境の整備

- ・元年に製作した水路案内看板に夜でも認識できる照明の取付け。(2カ所)
- ・年間を通じ「押出川の情報掲示板」で花モモの開花時期等、発信してゆく。
- ・ホタル水路に産卵場所となる苔石の増設設置。(20カ所)
- ・健康プラザウォーキングロード緑地に低木(シモツケ)の苗228株を植栽。
- ・4月【植樹祭】はコロナ猛威により中止。役員での植樹の実施。



夜でも活躍する案内標識

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・現地に設置した照明付き情報掲示板と標識により目的地まで誘導でき、的確な情報発信が可能になり、見学者に情報が伝わりました。
- ・上田市のホームページや広報各社に、花モモ・ホタルの写真と情報掲示板の取付け位置図面等を提供した結果、写真愛好家が撮影に来るようになり「押出川の花モモ」の写真がNHKの「撮るしん」で紹介されました。

#### 今後の取り組み

- ・現地の「情報掲示板」と市のホームページを活用し、最新の情報発信をしていきます。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・植樹祭における低木の植栽はボランティアを募集し自然環境の大切さを学んでもらう予定でしたが、コロナの猛威により役員での実施となりました。
- ・太陽光利用の照明は、スイッチ等は自動で一年を通して保守が必要なく、来たホタル等の発生場所への現地案内が必要なくなりました。

### 代表者のコメント

植樹祭が中止になったのは残念でしたが植樹等での環境の改善は図られ、またホタル見学者が誘導者無しで安全に発生場所等に行けるようになり、当初の目的は達成できました。



## 心がやすらぐ道づくり (花いっぱい会)

事業費 596,899 円 補助金額 595,000 円 2/3 年目

### 事業の目的及び概要

上田市の西の玄関口である R18 上田バイパスの景観を整え、美しい「さんぼみち」を楽しんでもらう。また、皆さんが散歩、トレッキングできる道をつくり、咲く花を見て「心の中に花を咲かせたい」。



コスモスのさんぼみち

### 事業の内容

さんぼ道、景観づくり

- ・花桃を植樹しその周りの草刈りや側溝の泥あげ。
- ・花の苗を植える。コスモスやマツバギクの手入れ。
- ・神樹（外来種）の駆除。
- ・市民の憩いの場（散歩、トレーニング、トレッキング）としての側道整備。



頂いた花の苗を植えている様子

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・散歩する方、トレーニングする方がとても多くなり、地域の方々が関心を持ってくれるようになりました。
- ・植樹祭は新型コロナウイルスの影響で中止となったが、秋のコスモス写真展はとても好評で、心温まるお手紙をいただきました。

#### 今後の取り組み

- ・来年度のイベントで小学生を中心に里山を利用して春探しトレッキングを考えています。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・花桃 14 本の植樹を行った。水やりや消毒用に動力噴霧器を譲り受け、夏の間の 2 日毎の水やりに大活躍しました。とても大変な草刈りをどのように進めていくのがこれからの課題です。

### 代表者のコメント

一人で始めた草刈りだったが、だんだんと人数が増えていき、たくさんの賛同を得て作業をするようになりました。人のことを思いやれるそんな優しい気持ちがとても嬉しいです。

## 運動・食・社会参加で元気西部！！ (NPO 法人健康サポートまごの手)

事業費 130,784 円 補助金額 130,000 円 2/3 年目

### 事業の目的及び概要

超高齢化社会を迎える中、健康づくりの国際基準の運動・食・社会参加を取り入れた健康プログラムにより、介護予防、健康増進に取り組み、地域の方と過ごす時間を共有するところから、社会参加や地域づくりのかかわりをより多く持つことができ、健康寿命の延伸につながります。

また、介護や寝たきり、孤独を防ぐとともに自治会活動に参加するきっかけになり、地域コミュニティの再生や活性化も期待できます。



家でもできるストレッチや演歌サイズを楽しむ参加者（みんなの寄り場塩尻）

### 事業の内容

#### 出前講座

・塩尻集いの場にて、7月から毎月1回、フレイル予防、生活習慣の見直し講座

・常磐町自治会にて、日常で取り入れられるストレッチ

地域協議会・西部地域まちづくりの会高齢者部会の行うサクスコンサートに参加

第二回健幸まつりは、新型コロナウイルスの影響により、中止。

「北国の春」チュチュをつけバレリーナ風の健康体操をする参加者（常磐町）



### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・昨年から出前講座をしていた塩尻集いの場での会が、移住されてきた方や自治会を越えたお友達などで、毎月参加者で声をかけあって集うサロンに発展しました。
- ・新型コロナウイルスにより健幸まつりは中止したが、自治組織とサクスコンサートに参加し、多くの方に音レクを体験していただきました。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・コロナ禍で、歌うこと、人と会うことなど活動のすべてが制限され事業ができなかったが、その中でも安全対策、人数制限など工夫して、規模を縮小し事業を実施しました。

### 代表者のコメント

コロナ禍で事業の開催ができず苦労したが、できることを探って全力で取り組みました。規模は小さかったが、サロンの定着など成果があげられて良かったです。



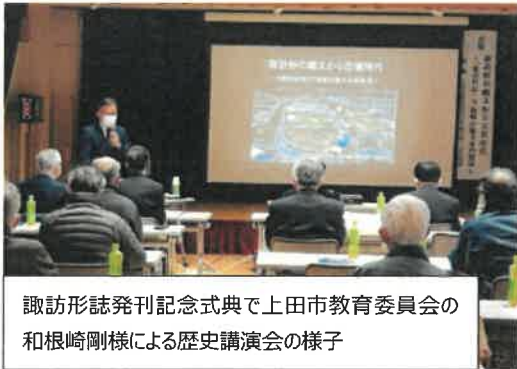
## 諏訪形誌刊行事業 (諏訪形誌刊行委員会)

事業費 2,183,000 円 補助金額 1,850,000 円 5/5 年

### 事業の目的及び概要

諏訪形自治会の歴史と文化資源等を調査し、文書として残すことを目的とする。

古くから脈々と続く歴史を学び伝える事により、住民がその価値を再認識し、地域への愛着や一体感を醸成する。また、諏訪形誌刊行後には、その成果を語り合い住民相互の緊密な交流の促進を図る。



諏訪形誌発刊記念式典で上田市教育委員会の和根崎剛様による歴史講演会の様子

### 事業の内容

- ・グラビア（写真）の収集とレイアウト及び年表の精査校正し、印刷業者へ依頼。
- ・諏訪形誌を発刊。（10月）
- ・諏訪形誌発刊記念式典と記念講演会を開催。



諏訪形誌発刊記念式典で細川自治会長より印刷業者に感謝状を贈呈（12/19 諏訪形公民館）

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・諏訪形誌を10月20日に発刊し、同日「受け入れ式」を実施しました。
- ・諏訪形誌総会を6月に実施し、歴史講演会も実施しました。
- ・諏訪形誌発刊記念式典を12月19日に実施し、同時に歴史講演会も開催しました。
- ・諏訪形誌が完成したので、6年目以降の活動について構想ができました。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・自治会員への配布について、自治会と発刊委員会が協力して落ちがないように確認を行いました。

### 代表者のコメント

地域の居住人口の増加に伴い、地域への愛着に対する関心、住民同士の意思疎通を高めるための一助として、諏訪形誌の発刊を試み平成28年から準備し、以降5年の年月をかけ今般ようやく発刊を迎えました。市当局をはじめ多くの自治会関係者のご協力の賜物と深く感謝をします。今後「諏訪形誌」を通して、明るい街づくりと当初の目的が達成できればと願っています。

## 地域の魅力発信と学びの場づくり事業 (千曲清流会)

事業費 93,480 円 補助金額 93,000 円 2/5 年目

### 事業の目的及び概要

これからの地域の担い手とともに、地域への愛着を深め地域振興と活性への情熱を継続し次世代に繋げること、地域の観光資源のブラッシュアップによる更なる魅力アップと環境学習活動の継続及び学びの場の教育資源化を目的とし、「上田市わがまち魅力アップ応援事業」の当地域での集大成的事業として実施する。

千曲公園 除草作業の様子



### 事業の内容

上田市街地や周辺地域を一望できる「千曲公園物見台」の維持作業と活用

・千曲公園物見台とその周辺の草刈りやゴミ拾い等の維持作業。公園の利用促進。

千曲公園登山道の維持修繕

・除草、倒木処理、路面整地。

「蛍の自生水路」と「かぶと虫自然孵化場所」の整備と学びの場づくり

・水路の維持修繕。

除草作業、ボンボリ点灯後の千曲公園



### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果及び今後の取り組み

- ・千曲公園物見台とその周辺の維持作業として、草刈りやゴミ拾いを実施しました。利用促進としては、散策ウォーキングを企画しガイドも行いました。維持作業や利用促進は、来年度も引き続き実施予定としています。
- ・千曲公園登山道の維持作業として、除草、碎石敷均しを実施しました。台風 19 号の被害による登山道の浸食崩落箇所の修繕をしました。来年度も未修繕箇所の復旧や除草・ゴミ拾い・整地作業を予定しています。
- ・「蛍の自生水路」づくりでは、昨年度に続き台風 19 号により壊滅してしまった水路復旧を行い、草刈りゴミ拾い等の維持作業をしました。来年度はホタルの孵化を実施する予定です。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・コロナ感染防止のため、作業やイベントを行う際に蜜にならないような実施計画や感染防止対策。
- ・自分たちが暮らす地域の継続的な魅力アップ活動や整備後の維持作業を持続するための意識の共有を図ることやコロナ感化性防止対策。

### 代表者のコメント

地区住民のご協力を得て作業を実施することが出来ました。来年度からも皆で力をあわせ、持続可能な地域づくりの為の活動を展開していきます。

## 金井自治会住民三世代が連帯感を持ち助け合えるための事業 (金井若草文庫)

事業費 139,797 円 補助金額 139,000 円 4/5 年目

### 事業の目的及び概要

自治会館の一角に若草文庫を作り、誰でも気軽に利用することができ、本を通じて地域住民が交流できる場を設ける。そして、三世代の交流を促進し地域の連帯感を醸成する。

### 事業の内容

- 1 文庫の充実  
令和 2 年度末の蔵書数は 3,700 冊となりました。本の入替えも随時行い、本棚の整理整頓に努めました。
- 2 夏休みお楽しみ会として特別講演会の実施  
令和 2 年度は「石って面白い Part2」として実施予定だったが、コロナウイルスの影響により中止。
- 3 文化講座の実施  
コロナウイルスの影響で朗読教室は中止とし、川柳講座のみ 8 月から再開しました。
- 4 文庫の日を設ける  
自治会館の本の貸し出しを毎週土曜日 午前中に実施予定だったが、コロナウイルスの影響で中止。

上野がまち魅力アップ応援事業  
「若草文庫」 川柳講座 令和二年十二月十一日  
講師 羽七郎 淡菜

題名「神子節」

- 一 神子の海を渡る月夜
- 二 仕舞屋敷の神子もすつかりあたりか

（一）仕舞屋敷の神子もすつかりあたりか

- 一 一重衣で神子海を渡る月夜
- 二 神子と神子の神子もすつかりあたりか
- 三 ひび割れを神子の神子もすつかりあたりか
- 四 神子の海に一人あたりか
- 五 神子の神子もすつかりあたりか
- 六 神子の神子もすつかりあたりか
- 七 神子の神子もすつかりあたりか
- 八 神子の神子もすつかりあたりか
- 九 神子の神子もすつかりあたりか
- 十 神子の神子もすつかりあたりか

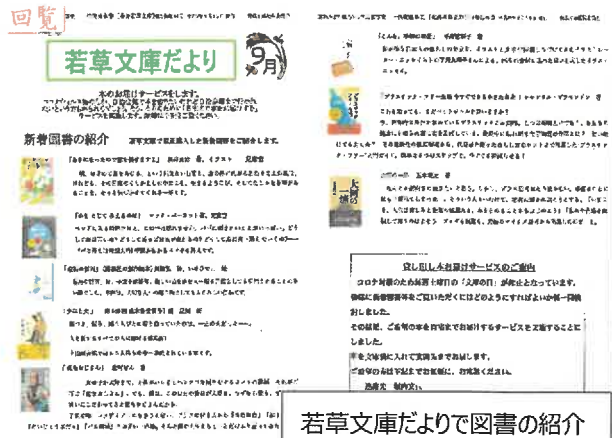
おがまち魅力アップ応援事業  
「若草文庫」 川柳講座 令和二年十二月十一日  
講師 羽七郎 淡菜

題名「神子節」

- 一 神子の海を渡る月夜
- 二 仕舞屋敷の神子もすつかりあたりか

（一）仕舞屋敷の神子もすつかりあたりか

- 一 一重衣で神子海を渡る月夜
- 二 神子と神子の神子もすつかりあたりか
- 三 ひび割れを神子の神子もすつかりあたりか
- 四 神子の海に一人あたりか
- 五 神子の神子もすつかりあたりか
- 六 神子の神子もすつかりあたりか
- 七 神子の神子もすつかりあたりか
- 八 神子の神子もすつかりあたりか
- 九 神子の神子もすつかりあたりか
- 十 神子の神子もすつかりあたりか



### 川柳講座の課題

### 事業の成果、今後の取り組みなど

- 成果**
- ・新年度スタート直後にコロナ非常事態宣言が発令され、自治会館の使用も制限される中、「土曜文庫の日」、「朗読教室」等をやむなく中止しました。かろうじて川柳教室のみ 8 月から再開できました。コロナの状況をみながら工夫して事業実施しました。
- 今後の取り組み**
- ・本を借りるだけでなく、塗り絵・手芸等密に留意しながら人が集まる場所づくりに努めます。併せて図書のディスプレイをして住民の皆さんに見てもらい、コロナの状況をみながら引続き講座等を実施していきたい。
- 苦労した点、工夫した点**
- ・寄贈図書・購入図書を整理整頓し、新鮮で楽しい図書空間を作るよう陳列等に工夫を凝らしました。
  - ・自治会館で図書の貸し出しができなくなったため、「若草文庫だより」で図書の紹介をし、併せて希望者には本を図書袋に入れてポスト配布を実施しました。

### 代表者のコメント

わがまち魅力アップ応援事業として 4 年目を迎え一層の充実、そして足固めと思っていたところコロナのため出来なくて残念でした。

## 高齢者社会に荒廃里山を活用し健康寿命を延ばす魅力ある地域づくり (金剛寺自治会)

事業費 300,620 円 補助金額 280,000 円 2/2 年目

### 事業の目的及び概要

令和元年の台風の影響で木々が倒木した里山（米山城登り口等）を整備し広場・運動場等にする事で、地域住民が交流し、子供から大人まで楽しめる地域づくりをしたい。

#### カブト虫を配布している様子



### 事業の内容

整地作業が終了したので、木陰の広場・運動場・休息所を整備するため、植樹を行い活気あふれる場所を目指す。マレットゴルフコース造り、植林、カブト虫配布、マレットゴルフを実施しました。

- ・桜、紅葉等の植樹を行いました。（コロナの影響で4月予定を延期しました）
- ・7月にはカブト虫を子ども達に配布しました。
- ・マレットゴルフの広場に、けが防止で転落防止ネットの取り付けを行いました。



マレットゴルフ初打ち会の様子

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・倒木に集まってきたカブト虫を自治会内の子ども達に配布し、「わー！カブト虫って大きい」と喜んでもらえました。
- ・10月には子どもと大人と一緒にマレットゴルフは初打ち会を和やかにいき、幅広い世代の交流の場となりました。

#### 今後の取り組み

- ・春には桜、秋には紅葉等季節を感じることができる場所にするために木々を皆で植樹したい。
- ・この活動を通じて、地域住民が集まって出来る運動など皆で考えて笑顔あふれる地域づくりをしています。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・カブト虫の配布にあたり、気候の影響か今年はカブト虫が少なくて大変苦労しました。
- ・マレットゴルフのテストをしたところ、造成した広場が急斜面であったためボールが出てしまいました。また、そこが崖になっており、事故につながることから急遽転落防止ネットを張りました。

### 代表者のコメント

新型コロナウイルス感染症対策で大勢集まったの作業が出来ず苦労したが、皆の協力で計画どおり進めることができました。

## 矢沢城跡公園整備と地域活性化事業 (矢沢城跡さくら会)

事業費 72,999 円 補助金額 72,000 円 5/5 年目

### 事業の目的及び概要

「矢沢城跡さくら祭り」を開催することにより地域の活性化を狙うとともにかつての桜の名所の復活を目指す。また、実施に向けて矢沢公園及び周辺整備や駐車場の整備等を行い、来場者とのコミュニケーションも図っていく。

公園周辺整備の様子



### 事業の内容

令和 2 年「第 4 回矢沢城跡さくら祭り」の実施（令和 2 年 4 月 12 日から 4 月 25 日まで）と令和 3 年「第 5 回さくらまつり」の準備。

- ・矢沢城跡公園入口から相撲場まで夜桜見物できる照明とライトアップの設置。
- ・期間中、駐車場を使用しやすく、案内看板は常設化。
- ・幟旗設置による地区内の雰囲気づくり（さくら祭り期間前～期間中）
- ・豊殿地区全体にさくら祭りの PR。

矢沢城跡公園ライトアップの様子



### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・コロナ感染拡大防止に伴い、催事はすべて中止となり、雪洞やライトアップ等鑑賞のみの「さくら祭り」になってしまったが、来場客は例年とほとんど変わりなく訪れていました。他地域で桜の花見中止などの影響もあり、ライトアップだけでも実施できたことは良い結果となりました。
- ・矢沢公園の土手の危険防止のため、ロープの設置等環境整備にも取り組みました。

#### 今後の取り組み

- ・事業最終年度であるが、今後も「さくら祭り」を自治会に引き継いで継続していきます。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・令和 3 年の「さくら祭り」は事業としては準備だけで終わってしまうので、地域内のコンセンサスを得て引き続き自治会で継続していくための根回しと組織づくりに鋭意努力をし、自治会の理解を得て継続させていくことが決まりました。

### 代表者のコメント

コロナの影響で催事が中止となる中で、せめて桜見客は例年どおり楽しんでもらいたいと、ライトアップの雪洞点灯は続けてきたが、自治会がこれからも継続して引き継いでくれることになり、安心して「矢沢城跡さくら会」の事業を締めくくることが出来てよかったです。

## ふれあいサロン 地域住民の交流の場づくり事業 (豊殿ふれあいサロン運営委員会)

事業費 105,546 円 補助金額 105,000 円 2/5 年目

### 事業の目的及び概要

近隣住民同士の関係が希薄となり社会問題化するなか「気軽に集える場所」として、ボランティア活動を基本とした地域住民の皆さまの「ふれあい・語り合い・支え合い」の場として、より楽しく気軽に集えるような事業を実施する。



折り紙をしている様子

### 事業の内容

コロナ禍においてようやく実施できた教室等

#### 1 趣味の教室

- ・オカリナ教室（実施予定 6 回、実施 4 回）
- ・あやこ村声のワークショップ（実施予定 6 回、実施 4 回）
- ・オセロ、囲碁、将棋、折り紙教室（サロン使用者による随時実施）

#### 2 イベントの開催

- ・ゴスペル（新型コロナウイルスの影響で中止）



趣味の教室

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、ふれあいサロン「hinata bocco」の特色（気軽に集え居場所の提供）は影をひそめる状況でありました。そんななかで実施された「オカリナ教室」、「あやこ村声のワークショップ」は一定の成果をあげ、今後に期待をもてる内容となりました。また、オセロ、囲碁、将棋教室及び折り紙教室は通常のサロン利用者が気軽に行える内容になりました。

#### 今後の取り組み

- ・来年度は創意工夫によりコロナ禍に負けぬ「ふれあい広場」として、より発展させ地域の皆さまの期待に応えられる事業を実施していきます。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・コロナ禍であったため、開催中止が多く実施計画書のとおり実施できた回数は計画の半分にも満たないものでした。このようななかの開催なので、開催可否が不透明であり地域の皆さまへの情報発信が困難でした。

### 代表者のコメント

コロナ禍でのイベント開催は厳しく利用者の期待に応えることが難しい状況でした。今後も創意工夫により期待に応えられる事業を実施していきます。

## 岩門城跡整備事業 (岩門自治会)

事業費 981,820 円 補助金額 715,000 円 2/2 年目

### 事業の目的及び概要

古来からの言い伝えの岩門城跡については、自治会内に研究会を立ち上げ、平成 31 年 4 月市教委の協力で試掘を行い城跡が確認され、同年 8 月に発掘により建物の痕跡跡が確認されました。この結果を受け、さらに調査を進め地域遺産として後世に伝え、自治会の活性化に役立てる。

### 事業の内容

- ・岩門城整備保全方法を検討し、事業を進めました。
- ・城跡調査のまとめを行い、案内板・説明版の設置により案内表示を充実させ、広報活動も積極的に行いました。
- ・城跡内の植栽等による景観整備。
- ・次年度以降の運営体制の検討も行き、今後の景観整備や保全活動を継続的に行います。

説明板を設置



案内板・説明板を設置



### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

・教育委員会の協力の下、新たな発掘調査を実施し数多くの出土品が得られました。案内板設定により岩門城跡に興味を持たれ当該地域へ訪れる人達へスムーズな案内が可能となりました。また、説明板設置により歴史的な状況説明や発掘調査の内容を掲示することができ、パンフレットの説明よりも充実したものとなりました。

#### 今後の取り組み

・植栽等環境整備を進めることにより、今後の景観にも期待するところです。

#### 苦勞した点、工夫した点

・コロナウイルスの影響により事業の完了が危ぶまれたが、最後の植栽事業では多くの人手が確保できて無事完了することができました。

### 代表者のコメント

二年次事業により多くの人に岩門城跡について、広報が可能となり、今後の保全活動等につなげていくことが可能となりました。

## 伊勢崎城跡整備並びに神科東部観光ガイドマップの刊行及び活動 (伊勢崎城跡復興会)

事業費 1,167,100 円 補助金額 1,124,000 円 2/2 年

### 事業の目的及び概要

伊勢崎城跡は、虚空蔵山の山頂、神川と砥石城近くに位置する戦国時代の山城跡です。この城跡周辺の環境整備を実施し、昔の姿をよみがえらせ、神科東部観光マップを編集・刊行・頒布し、トレッキングに供し、広く伊勢崎城跡を顕彰し神科全域の観光ルートの開発を図る。



### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・伊勢崎城跡に向かう道の整備ができました。
- ・伊勢崎城跡の標柱、ベンチ、階段を築造できました。
- ・神科東部観光マップを編集・刊行・頒布ができました。

#### 今後の取り組み

- ・伊勢崎城跡周辺の山城跡や文化財を巡るトレッキングマップになっているので、幅広い年代の方がお越しいただけるようトレッキングイベントを開催する予定です。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・文化財の規制の対応に努力を要しました。
- ・周囲の地権者の要望に基づきトレッキングコースを変更しました。

### 事業の内容

令和2年7月～令和3年2月まで以下実施

- ・会員の労力奉仕で伊勢崎城跡に向かう道及び山頂の城跡の草刈りを実施。
- ・会員の労力奉仕を含め、伊勢崎城跡の標柱、丸太ベンチ、階段を築造。
- ・神科東部観光マップを編集・刊行・頒布、トレッキングの準備。

築造した階段



階段施工後



階段施工前

### 代表者のコメント

コロナ禍で活動に制限を受けました。今後も地元の協力を得て、環境整備をして、観光マップも活用していきたいです。



## 歴史の径整備と石神150年史の作成事業 (石神自治会)

事業費 443,500円 補助金額 300,000円 2/5年目

### 事業の目的及び概要

地域の文化財巡りに係る「歴史の径整備事業」の一貫として、今年度は利用者が少なく荒れていた「六柱神社」を巡る旧参道を老若男女だれもが利用できる散歩道として整備することを計画。併せて、四季の移ろいを感じながら散歩できるよう植樹を実施する。



木葉刈り作業の様子

### 事業の内容

- ・歴史の径計画路線周辺の木葉刈り作業
- ・大正期に植樹し、立ち枯れがひどい桜古木を含む支障木の伐採作業
- ・重機による2m幅散歩道の構築作業
- ・擬木階段25段の設置作業
- ・桜苗木「小諸紅枝垂桜」を14本定植、つつじを60株定植
- ・擬木階段25段の設置作業



擬木階段設置作業の様子

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・「老若男女だれもが利用できるようにしていただきたい」との自治会員からの要望を受け、道幅の拡幅・擬木階段の設置・支障木の伐採等により要望に沿った整備ができました。

#### 今後の取り組み

- ・見晴し公園展望台の整備、公園への案内板及び説明板の設置、歴史の径継続整備等。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・2m幅散歩道拡幅については支障木や枝の落下が懸念される古木が多く、大木については重機を用いて撤去しました。
- ・雨水・湧水等による散歩道の浸食防止のため、水切り溝を敷設しました。

### 代表者のコメント

散歩道の整備は春季施工終了予定であったが、コロナ禍で秋季施工に変更を余儀なくされ、秋季の利用が不可能になったことが心残りです。

## 塩田地域生涯健康いきいき事業 (うえだミックススポーツクラブ)

事業費 291,077 円 補助金額 142,000 円 4/5 年目

### 事業の目的及び概要

「生涯健康」をテーマに、塩田地域の特性を生かしながら、老若男女問わず「塩田地域からの生涯スポーツを発信」を目標に事業展開する。

### 事業の内容

ジュニアバスケットボール講座  
・ゆるいバスケットボールサークル・フットサルサークルを行う予定で企画していたが、自然運動公園体育館の改修工事・アスベストによる工期延長、またコロナ禍の自粛などもあり、当初の予定を変更せざるを得ない状況になりました。



バスケットボール講座の様子



### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

・スポーツの在り方はこれまでと若干ルールが変わり、人との適度な距離を保ちながら体力維持増進をしていく必要性があります。更に、少子高齢化や、年齢層問わず体をうごかす機会が減少している事を踏まえて、適度なコミュニケーションと運動するチャンスを作っていく事は継続して行っていきます。

#### 苦労した点・工夫した点

・使用している会場の改修工事が延長したこと、また、コロナ禍により不特定多数の参加者を制限せざるを得ない状況となった事は予測出来ない事でありました。そこで、参加者を限定できるジュニアバスケットボールにシフトチェンジしました。

### 代表者のコメント

～スポーツで幸せ～を感じられる地域づくりをこれからも行っていきます。

## 信州の鎌倉・塩田平ため池群魅力アッププロジェクト (塩田平のため池を愛する会)

事業費 351,484 円 補助金額 350,000 円 2/4 年目

### 事業の目的及び概要

長野県で初めて開催される全国ため池フォーラムに向け、全国から集まる参加者のため池と塩田平の様々な魅力をアピールし、宿泊・交流人口を増やし地域の活性化につなげる。



完成した、ため池パネル

### 事業の内容

ここ数年にわたり本会が招致活動を展開してきた全国ため池フォーラムが、新型コロナウイルスの蔓延により1年先送りされ、令和3年秋にサントミュージアム大ホールで開催されることになりました。これを絶好の機会ととらえ、全国から参加する皆さんに対し、ため池文化をアピールし、地域活性化につなげるために以下の事業を準備しました。

- ・フォーラム会場でのため池資料を紹介するためのため池パネルの作成。
- ・次世代にため池文化を伝えるための小学生向けの副読本、塩田のため池群を網羅した市民向けの冊子作成のための調査・研究。



ため池パネル作成の様子

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・2021年度に開催される全国ため池フォーラム会場に展示される、塩田平のため池群の資料を34枚のパネルにすることができました。
- ・ため池群副読本やため池群の冊子制作のための調査・研究をすすめ、2022年度までに公民館・学校等への配布の見通しが立ちました。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・展示用パネルは、各ため池の歴史や文化について、小学生高学年を念頭に置きながらの記述や写真なども使い制作しました。

### 代表者のコメント

当初予定されていた全国ため池フォーラムが、新型コロナウイルスの蔓延により1年先送りされ、計画していた各事業が中止となりました。ただし、ため池パネルの作成により小学校の郷土学習や公民館でのため池学習など、幅広く活用ができます。

## 十人ふれあい公園整備事業 (十人自治会)

事業費 106,092 円 補助金額 100,000 円 3/3 年目

### 事業の目的及び概要

十人ふれあい公園を、高齢者から子どもたちまで楽しく集える場とし、また地区外住民との交流スペースとして活用し、地域の活性化に役立てたい。



公園整備事業の記録・歴史資料

### 事業の内容

4～10月

・芝生公園の管理（目土入れ、雑草取り、定期的な散水、芝刈り、除草剤散布）、アジサイ、ハナモモ、キンモクセイ等の植栽、縁石の設置

10月

・公園整備事業の記録・歴史資料の印刷、配布



植栽の様子

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・公園の整備が進み多くの人々が触れ合える環境整備ができました。
- ・活動の記録・歴史資料を冊子にして配布したことにより、地域の歴史を振り返るきっかけとなりました。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・できるだけ多くの人に事業に参加してもらうため公園整備ボランティアを公募し、植栽作業や芝刈りなどを実施しました。
- ・コロナ禍により、大勢の集まるイベントや講演会が実施できず残念でした。

### 代表者のコメント

わがまち魅力アップ事業を機に自治会内で新たな交流・活動がスタートできました。

保野地域内の景観と花、史跡を巡る遊歩道、散歩道のモデルコースを選定し、コース周辺に案内板、標柱等を設置し整備を進める事業  
(保野歴史研究会)

事業費 121,339 円 補助金額 100,000 円 2/4 年目

事業の目的及び概要

景観に感動し、草花や花木に癒され、史跡から先人の努力を想い浮かべ、四季の移ろいや、自然の恩恵、史跡の背後にある先人達の姿を感じ郷土愛を深めたい。



事業の成果、今後の取り組みなど

事業の内容

保野の歴史や自然を後世に残していくために、史跡の保存と整備・史跡への案内板、標柱、ベンチの設置、歴史史跡の解説等の講演会の開催。

- ・郷蔵跡と旧公民館の標柱
- ・保屋野ヶ原古戦場跡の標柱
- ・榊形跡の標柱とベンチ
- ・塩野神社神楽殿標柱
- ・塩野神社・廻り舞台の道標
- ・塩野神社のベンチ設置



成果

- ・令和 2 年度は標柱、案内板、ベンチ等の設置をしました。標柱、道標は会員の手作りです。散策者の増加や自治会行事での活用で交流や健康推進が期待できます。

今後の取り組み

- ・残りの標柱、道標、ベンチ等の設置作業をします。その他に遊歩道、散歩道等の距離測りウォーキングコースを選定し、ウォーキングマップを作りたいと考えています。
- ・利用方法、管理について自治会内各部署との打ち合わせが大きな仕事となります。

苦労した点、工夫した点

- ・コロナ禍で集会、集団での作業が進まず、連絡、報告等に気を使いました。使用許可等の進捗状況に合わせて、作業内容を前後させました。

代表者のコメント

コロナ禍でありましたが、作業を分担し標柱、案内板、ベンチの設置等はほぼ完成しました。今後は残りの作業とウォーキングコースの選定、案内板設置やガイドブック作成準備に入りたいと思います。内容等は自治会と打合せを予定しています。完成した標柱、案内板を利用し保野の自然と史跡を活かした肌で季節を感じることができる、安心して安全な遊歩道・ウォーキングコースを考えています。

## 手洗池の魅力アップ（山野草の環境保護とウォーキングコースの整備）事業 （柳沢自治会）

事業費 226,180 円 補助金額 226,000 円 2/4 年目

### 事業の目的及び概要

現在進められている手洗池の耐震化工事の完成後には、一時避難した山野草の自生を促す、見守り活動と併せて堤体上に整備される遊歩道を楽しみながら散策できる環境整備を図りたい。

新しくなった手洗池へ多くの方に訪れていただき、豊かな自然環境でのウォーキングによる健康の増進にも期待したい。

### 事業の内容

- ・手洗池の耐震工事は平成30年度～令和2年度
- ・山野草の保全活動  
池の北側堤体斜面下部に、保護してある200株を戻す作業、除草と灌水
- ・ウォーキングコース整備  
手洗池に生育する山野草と水鳥の写真入り案内板（30枚）、イルミネーションの設置



案内板



仮移植してあった山野草を戻す様子

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・手洗池工事で仮移植してある山野草を池の堤体に戻す作業を、令和2年4月4日から数回に分けて実施しました。
- ・ため池に飛来する水鳥の看板を遊歩道沿いに設置しました。
- ・冬限定で歩道沿いのフェンスにイルミネーション80mほどを設置しました。

#### 今後の取り組み

- ・今後は、手洗池の耐震工事の完成後ウォーキングコースの整備を進めたいです。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・本事業の実行委員会を設立し、参加団体の協力を得て事業を進めています。

### 代表者のコメント

長野大学高橋教授の指導のもと、山野草の移植作業や水鳥の看板制作設置の作業など予定していた活動を無事に遂行できました。今後は手洗池工事の進捗に併せて次の活動を進めていきたいです。

## 「農村体験」交流事業 (川西里山ぐらし)

事業費 22,958 円 補助金額 22,000 円 5/5 年目

### 事業の目的及び概要

川西地域における豊かな水辺、里山の自然を守り、かけがえのない自然を生かしながら地域の農業を通して都市と農村の交流をはかり、地域の活性化を目指す。

また、川西里山ぐらしとしての自立準備。

### 事業の内容

地元の小学生の農村体験、海外からの民泊（地元家庭での受け入れ）等



学習会の様子



### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

・コロナ禍をまともに受けて、ホームステイがすべてストップしてしまったため、本年は、川西小学校 4 年生の農村体験のみとなりました。受け入れ家庭も定着してきたのに大変残念でした。せめても、と講演会を企画し、「ホームステイの今後」を中心に学習会をしました。講演会は、コロナ騒ぎのため参加者は若干少なかったが、いい勉強会となりました。

#### 代表者のコメント

コロナ禍のため、何もできなかったことが残念でした。

# 古民家を活用する里山ぐらし体験交流事業 (NPO 法人うるわしの里)

事業費 240,000 円 補助金額 191,000 円 4/5 年目

## 事業の目的及び概要

古民家・浦野宿の穀屋（歴史的遺産）を活用して、里山ぐらし体験及び郷土食を学ぶ講習会を通じて、都市、諸外国と地域の交流をはかり地域の活性化を目指す。

都市、諸外国の子ども達との交流による高齢者の生き甲斐づくりと、郷土食の学習会により家庭の味、おふくろの味の復活が期待できます。

なお、地域では卯建（うだつ、うだち）のある家として親しまれており、使用することにより、歴史的遺産を守ることにもなります。

## 事業の内容

郷土食の講習会を開いたり、里山ぐらし体験をする。



浦野宿の穀屋

## 事業の成果、今後の取り組みなど

**苦労した点、工夫した点**

- ・今年は、昨年から続くコロナ禍のため、外のお客様を呼ぶことができず、活動ができませんでした。

## 代表者のコメント

来年度は、最後の年になるので、どうか活動したいと思っています。



## 越戸日向山等里山整備と里山保全活動 (越戸自治会)

事業費 106,044 円 補助金額 93,000 円 3/5 年目

### 事業の目的及び概要

①越戸地区の入口であり、集落と浦野川に横たわる日向山は、「越戸十二景」のひとつとして親しまれるとともに、尾根に月見堂が設置され、時期によりぼんぼりが灯されるなど、地域住民の憩いの場となっています。

また、昔は地区伝統の雨乞いの儀式である「百八手」が尾根沿いに焚かれるなど、地区住民にとっては特別な場所となっています。

しかしながら、過去に登山道を整備した経過はあるものの、現在は登り口や尾根自体も雑木や竹が繁茂し、荒廃していることから、これらを生かして遊べる里山として整備し、地域住民の一体感を醸成を図る。

②地区内に群生している竹は、処理の難しさと、強い繁殖力、また、管理者不足により竹やぶ化が進み、里山の景観を損ねているばかりか、道路や水路に覆いかぶさり、住民生活や交通の妨げとなっています。このため、自治会として樹木粉碎機を所有し管理することにより、地区住民への貸与や共同作業により荒廃した里山を整備する。

あわせて、里山を整備することによる環境保全と有害鳥獣被害の軽減、竹パウダーを堆肥化し畑に還元することにより、荒廃農地の削減と土壌改善、農産物への効果に期待できます。

日向山月見堂木製階段  
設置作業の様子



### 事業の内容

①昨年度に引き続き、日向山の里山整備  
雑木・竹の伐採、粉碎機によるチップ化、  
急斜面への階段の設置、危険箇所への口  
ーブ柵の設置、花木の植樹

②里山整備委員会作業及び越戸水土  
里会と連携しての竹伐採による道路（農  
道）環境整備での樹木粉碎機活用、及  
び地区住民への貸出

日向山月見堂登り口等の植栽の様子



### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

①「里山整備推進委員会」の主催により、地区内若手の 20 人が参加し、日向山月見堂登り口の木製階段を設置した。昨年設置した参道登り口の花壇には昨年度に引き続き、ヤマボウシ・ガクアジサイを植樹したほか、サツキの追加植樹、周辺へのドウダンツツジの植樹を行いました。

②樹木粉碎機は里山整備委員会としての作業や越戸水土里会の道路環境整備として利用したほか、個人、地区外の団体の利用がありました。

#### 今後の取り組み

①日向山月見堂参道については、枕木による木製階段周辺へのツツジの植樹、危険箇所の安全対策を実施する。登り口周辺に設置した植栽柵にはさらに多くの花木や宿根草を定植し、四季それぞれに楽しめる場とする。

②樹木粉碎機については、自治会の共同作業のほか水土里会、他地区住民への貸出による活用を図ります。

### 代表者のコメント

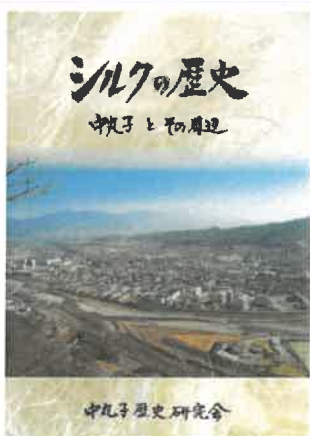
令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作業日程の計画に苦慮しました。このため予定の作業量は実施できなかったが、最小限の経費でほぼ予定した事業ができました。里山整備作業には役員ばかりでなく、自治会内の若手も積極的に参加し、地域を挙げての取組となりました。また樹木粉碎機は自治会外からの使用希望者も多く寄せられ、広域的な使用が拡大するものと思われれます。

## シルク繁栄今昔物語事業 (中丸子歴史研究会)

事業費 1,547,949 円 補助金額 1,451,000 円 5/5 年

### 事業の目的及び概要

江戸時代から現代までの養蚕～紡績業までの記録を広い地域から集め、その歴史を冊子にまとめる等の事業を行うことにより、散逸し消えてしまう恐れのある歴史的記録を後世に引き継ぐことを目的に事業を行います。



中丸子とその周辺の冊子・地図

### 事業の内容

- ・蚕種～紡績業に関する記録の収集。
- ・養蚕～製糸業に関する講演会の開催による勉強会。(毎年、4回開催)
- ・「シルクの歴史」中丸子とその周辺の冊子・地図を発行。
- ・今年度は、今までの調査・研究をまとめ冊子や地図を発刊しました。
- 4月：中丸子歴史研究会役員・班長会今年度事業計画打合せ、両角辰文氏 聞き取り調査
- 10月：工藤家 聞き取り調査、役員・班長会
- 11月：器械製糸班打合せ(まとめ)、役員会議
- 令和3年1月：岩村田藩 高礼調査
- 2月：役員会まとめ・編集委員の選任
- 3月：編集委員会の開催 印刷ゲラのチェック



聞き取り調査の様子

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・シルク繁栄今昔物語事業により、今までの4年間で多くの人々の協力を得て中丸子の養蚕・蚕種・器械製糸・紡績について、新しい発見が多く有り、今まで明らかにされていなかった事が多数解明できました。
- ・「シルクの歴史」の発刊により、中丸子歴史を後世に引き継ぐことができました。

#### 今後の取り組み

- ・今後はこの冊子を中丸子自治会員全戸に配布するとともに、中丸子歴史研究会としてこの冊子を読む会を開催し、より理解を深めていただく予定です。
- ・今後の中丸子歴史研究会の目標を中丸子村誌の編纂としてさらに調査・研究を進めていき中丸子村誌を発刊したいです。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・中丸子在住の高齢の方(昭和一桁生まれ)を中心に聞き取り調査を行いました。明治・大正時代の状況を聞き取ることが難しかったです。また、旭社関係の資料は、散逸しており、収集に苦労しました。
- ・コロナ禍により思うように会合を開くことができませんでした。
- ・製糸工場の位置等の資料は、自治センターの旧土地台帳により正確な資料の収集ができました。丸子郷土博物館の職員の協力をいただき効率的に資料を収集することができました。

#### 代表者のコメント

聞き取り調査や多くの人から情報を得て内容のある資料が多く集まりました。

## 子ども相撲&盆踊り地域交流事業 (石井夏祭り実行委員会)

事業費 83,198 円 補助金額 83,000 円 5/5 年目

### 事業の目的及び概要

子どもからご年配の方まで、幅広い世代の皆さんに参加していただき、世代間の交流・心の交流を行いながら伝統・文化を継承していきます。

ダンス披露の様子



### 事業の内容

清掃活動と秋祭り（子ども達との集い）開催

【公民館の清掃活動】

自治会・分館役員・小学4年生・PTA

【神社の清掃活動】

老人クラブ・中学生・小学5年生・PTA

【通学路の清掃活動】

見守り隊・小学6年生・PTA

【サツマイモ料理】

分館女性・PTA

【ダンス披露】

幼稚園児・保護者会



神社の清掃活動の様子

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・神社、通学路、公民館の清掃活動をしたので、大変きれいになり喜ばしいかぎりです。
- ・それぞれの部署にて活動しました。皆さんに協力して頂き、感謝いたします。

#### 今後の取り組み

- ・今後も清掃活動は続けたいと思います。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、人集めには大変苦労しました。予防対策を万全にし、自治会分館役員をはじめ地域の方々と協力し行動しました。

### 代表者のコメント

5年前、石井の子ども相撲や盆踊りは衰退していましたが、この事業のおかげで、土俵・提灯などが新しくなり、賑やかな「石井夏祭り」を開催することができました。

神社での「子ども相撲」「伝統の盆踊り」「分館活動や幼稚園児のステージ発表」「自治会・分館・PTA・小中学生のおもてなし」など大変盛り上がりました。

清掃活動に関しては、住みやすい地域づくりのひとつとして、続けて活動していきたいと思っています。

## 上田地域防災・減災対策自助事業 (上田市防災士等連絡協議会)

事業費 218,809 円 補助金額 218,000 円 4/5 年目

### 事業の目的及び概要

災害ハザードマップや丸子地域等の河川映像データ等から危険箇所を把握し、地域住民に周知します。さらに、自主防災組織の活性化を目指し、各組織と連携し地域防災力の底上げを図ります。また、収集データを活用する等して地区防災計画の策定へ繋がります。

### 事業の内容

- ・令和2年4月9日より、毎週木曜日に丸子テレビにて防災ミニ講座放映スタート。
- ・10月 内村ダム見学研修、各関係機関・防災関係者へ講演会告知訪問、丸子地域の自治会長への講演会参加依頼。
- ・11月8日 丸子文化会館で工学博士・技術士を講師に迎え、防災講演会を開催。上田市の3Dハザードマップを使って講演を行いました。
- ・少人数での活動であるが、土屋市長と面談をはじめ危機管理防災課との連携にて活動することができました。



災害出動自助体制ヘルメット

### 防災講演会



防災講演会チラシ

#### 3Dハザードマップ上田市を公開!

工学博士・技術士 宇津木慎司氏を講師に迎え地上上田市の3Dハザードマップを基にした講演会。御会費無償、広域見学・聴講のスペシャリストであり、世界中の危険箇所を撮影した衛星を基にした講演には定評があります。自然災害についてわかりやすく説明します。

期日 2020年 11月8日(日)

時間 13:30~ <入場無料>

場所 上田市丸子文化会館(上田幸上丸子)

主催:上田市防災士等連絡協議会 上田県防災士等連絡協議会  
後援:上田市 協賛:丸子づくり会  
協力:丸子テレビ放送 問合せ TEL(0268)72-4718  
Mail kowara@broadband.ne.jp

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・防災講演会は、市・自治会・関係者へ、丸子テレビにて毎週木曜日の告知等ができました。

#### 今後の取り組み

- ・要望があれば出前講座のような形で、クロスロードゲーム、DIG、HUG など必要な防災対策や実施方法について共に知恵を出して取り組んでいくことで、防災リーダーの育成に寄与したいです。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・新型コロナウイルス感染症対策をして防災講演会を開催しました。
- ・丸子テレビの収録は6案件行いました。
- ・台風等への対応を行いました。

#### 代表者のコメント

自然災害が多発現況において更なる災害への事前の取り組みが必要と考えます。

雷電為右衛門学び舎の郷（長瀬村）  
（雷電為右衛門実行委員会）

事業費 168,125 円 補助金額 168,000 円 3/3 年目

事業の目的及び概要

雷電の様々な伝説やその対戦成績から怪力ばかりが強調されますが、相撲その他に関する直筆文、記録書類が残されていることから、実際の彼は極めて高い学識を身に付けた文武両道に秀でた大力士でありました。長瀬村（上田市長瀬）の石尊之辻やお寺等で 14 才～17 才まで過ごした間に鍛錬と学問を通してその基礎を培っていきました。学び舎の郷としての歴史をまとめます。



完成した看板

事業の内容

- ・地域の人々への歴史の共有と充実化を推進。
- ・4 月～5 月：長瀬にある長昌寺内の雷電資料展示コーナーの案内看板であるパネル看板の制作・設置。事業完了報告会準備。
- ・5 月～6 月：新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業完了報告会を中止し、事業完了報告書を送付することに決定。
- ・6 月～7 月：事業完了報告書の送付。（事業完了報告書・関係資料・記念タオルを送付）
- ・7 月：雷電資料展示コーナーにおいて、広報うえだの取材を受けました。
- ・丸子テレビ放送の取材を受けました。（雷電資料展示コーナーの撮影、事業立上趣旨の説明及び事業推進、今後の取り組みについて説明）



看板を設置している様子

事業の成果、今後の取り組みなど

成果・今後の取り組み

- ・地域の中で雷電為右衛門に関する歴史を共有し、地域の愛着を深めることができます。
- ・東御市と連携を図ることができます。
  - \* 相互乗り入れによる観光コースの設定
  - \* 信州・上田ながせみちウォーキングマップの活用

苦労した点、工夫した点

- ・メンバー内で担当を決め、各自の活動状況を作業実施状況表、推進状況確認表に反映してメンバー内で共有し活動成果を確認しました。

代表者のコメント

3 年余りの活動でありましたが、関係機関等と調整・連携を図りながら事業を完了できました。事業については、NHK イブニング信州・上田市の広報うえだ・丸子テレビ放送で紹介され地域に浸透したと思います。

## 深山古民家コンサート事業 (「深山古民家コンサート」を支援する会)

事業費 290,234 円 補助金額 290,000 円 3/5 年目

### 事業の目的及び概要

築 140 年の自宅古民家で 70~80 人程のお客様と出演者が一体になり、音楽・芸能を楽しむ場です。皆さんの聴き馴染みのある曲を中心にプログラムを作っています。幅広い年代・地域間の交流を音楽・芸能を通じて目指します。

### 事業の内容

- ・9月12日「マンドリン・アンサンブルと共に」青葉マンドリン室内楽団とソプラノによるコンサートを開催。
- ・11月14日「三遊亭遊馬が深山に来る」落語家 三遊亭遊馬の独演会を開催。(前座はソプラノ)
- ・12月12日「上田市在住3人によるクリスマスコンサート」オーボエ、ピアノ、ソプラノによるコンサートを開催。
- ・5回開催予定のコンサートでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で9月からのスタートになり、3回の開催となってしまいました。

マンドリン・アンサンブルと共に



上田市在住3人によるクリスマスコンサート



### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・自宅でコンサートを始めて6年目になりました。丸子テレビをはじめ週刊うだ、東信ジャーナル、有線放送の皆様の協力をいただき、地域の方のみならず、市内外各地から多くの方にお出でいただいています。

#### 今後の取り組み

- ・これからも皆様楽しんでいただけるよう、プログラムや特集などを組んでいきます。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・コロナ禍のため、開催に際しては、検温、参加者の連絡先記入、手指の消毒を行い、室内の換気、ソーシャルディスタンスに注意して客席を50席までにしました。いつも、70~80人程の参加者でしたので、減収が続きました。

### 代表者のコメント

コロナ禍で大変な年でしたが、コンサートを3回開催することができ、皆様に感謝しております。参加者の皆様が気軽に楽しく、コンサートに来ていただける日が一日も早く来ることを願っています。

## 荒廃竹林の活性化事業 (辰ノ口竹林活性化プロジェクト)

事業費 114,371円 補助金額 109,000円 3/5年目

### 事業の目的及び概要

荒廃した竹林の整備を行い環境改善し、竹林の価値を高め、自然環境の維持と有効活用をします。公民館やPTAとの共同学習を行い地域の魅力を発信します。

### 事業の内容

- ・竹林の間伐と間伐材の有効活用。
- ・タケノコを採取しメンマ作りの研究。
- ・竹炭作りを実施し、食育教育の一環とします。
- ・5月～7月：タケノコ採取とメンマ作り及び竹細工の準備。
- ・11月～12月：正月飾りの準備・作成。竹炭作り。
- ・1月～3月：間伐作業。

間伐作業の様子



正月飾り作成



### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・間伐を行う事で竹林が整備できました。
- ・講習会を開催する事で竹材の応用の広がりができました。

#### 今後の取り組み

- ・今後更に竹材の魅力を発信し地域連携を図ります。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・竹の性質を理解し、その応用の難しさに苦労しました。
- ・コロナ禍においてメンバーを集める事ができず苦労しました。

### 代表者のコメント

コロナ禍によりメンバーを集める事が難しく作業が思うようにできませんでした。

## 歴史と未来あふれる塩川地区の魅力を再発見・発信する事業 (塩川地区地域づくりの会)

事業費 70,000 円 補助金額 70,000 円 3/5 年目

### 事業の目的及び概要

地域資源を掘り起こし、絆を深めるため事業を実施して、昨年オープンした椀子ワイナリーの訪問客の皆さんにも地域をアピールします。

### 事業の内容

- ・ウォーキングマップ作成に向け各々の史跡、景勝地を四季折々カメラで撮り集めます。
- ・ウォーキングマップ作成の原案検討会の開催。
- ・地区にある文化財や史跡の由来等を説明する看板の設置。



ウォーキングマップ作成 原案検討会



### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・地区の魅力を紹介するウォーキングマップ作成に向けて情報収集・素材集めができました。

#### 今後の取り組み

- ・マップ作成に向けて取り組んでいきます。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・年度お願いした予算が少なかったため、活動の幅が狭くなってしまいました。
- ・山間地等通行量の少ない道路は草が繁っているため、刈取りが必要でした。

### 代表者のコメント

次年度、マップ作りの正念場になります。皆で頑張ります。



## 外国籍住民と共に防災、減災を考える (ゆうあいまるこ)

事業費 226,139 円 補助金額 226,000 円 3/5 年目

### 事業の目的及び概要

丸子地域の在住在勤外国人を中心に、日本語が堪能なバイリンガル外国人住民を通して外国籍住民に防災の知識・共助への理解を促し、外国籍住民を地域防災のパートナーとして社会参加を促します。国籍に関係なく「やさしい日本語」でコミュニケーションがとれるように「やさしい日本語」の理解と普及をしていきます。



Zoom の使い方講座の様子

### 事業の内容

- ・災害時に使われる日本語の理解⇒やさしい日本語で理解を深めます。
- ・避難所生活で体調を壊した時に使える「指差しハンドブック」の作成。ポルトガル語、スペイン語の翻訳、やさしい日本語の置き換えを行いました。
- ・講座「災害時の情報収集の仕方」、「外国籍住民と共に防災減災を考える」を開催予定でしたが、コロナ禍で開催できませんでした。
- ・ボランティアを対象にオンライン講座で Zoom の使い方、避難所体験、情報の取り方等を開きました。



### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・「やさしい日本語」について、外国人だけではなく日本人の間でも興味を持ってくれる人達がありました。「やさしい日本語」の普及に手応えを感じました。

#### 今後の取り組み

- ・「災害時の情報」を考えた時、日本語が十分でない外国人を支えるコミュニティが必要と感じました。今後、コミュニティ作りを進めていきたいです。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・コロナ禍で対面講座が開けなく、オンライン講座で開催することにしましたが、通信環境、端末機等が揃わないことや、オンライン講座になれていない等の状況のため、日本語教育専門の「にほんご+」に協力依頼をしました。

### 代表者のコメント

新型コロナウイルスの影響で講座が開けず、オンライン講座にしましたが、充分ではありません。また、指差しハンドブックについても、校正と内容確認を来年度しっかり進めていきます。

## 雅楽の魅力紹介事業 (雅楽の魅力を広める会)

### 事業の目的及び概要

会員相互の研鑽に励むとともに、新たな会員や舞姫の養成を継続的に行いつつ、各地域のイベント等に積極的に参加し古典芸能である雅楽の魅力を広く紹介します。また、将来を担う小中学校児童・生徒に対し雅楽の演奏や神楽舞を紹介することにより、古典芸能である雅楽の魅力を広めます。さらに、児童・生徒に雅楽器の演奏を体験させることにより、雅楽の魅力をより深く理解させたいです。



「豊栄の舞」がシルバーだよりの表紙を飾りました

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- 舞姫の養成
- ・コロナ禍によりイベントへの参加が減ったことにより、舞姫の養成がかなり進みました。
- 舞姫装束の整備
- ・舞姫の装束及び扇等小物を予定通り購入できました。

#### 今後の取り組み

- 雅楽の魅力を紹介
- ・各種イベントに参加し雅楽の魅力を紹介していきたいです。
- ・各地域の小中学校児童・生徒への雅楽の魅力紹介に積極的に取り組んでいきたいです。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・各種イベントが中止になり、会員のモチベーションを維持することに苦慮しました。
- ・早めに衣装を揃え舞姫の養成に力を入れました。

### 代表者のコメント

舞姫の養成に参加した会員は、積極的に練習に参加し、長足の進歩を遂げました。

事業費 1,056,527円 補助金額 760,000円 2/3年目  
事業の内容

- 舞姫の養成
- ・公募により舞姫の養成事業への参加者を中学生・成人を対象に募集し養成を行いました。
- 講師：上小雅楽会（令和2年7月から令和3年3月まで）
- 舞姫装束の整備
- ・舞姫の装束及び扇等小物の購入。
- 雅楽の魅力を紹介
- ・信州ルネッサンス等各地域のイベントに参加し紹介。（各種イベントへの参加を予定していましたが、コロナ禍により一部の事業を中止しました。）
- ・各地域の小中学校児童・生徒に雅楽の魅力を紹介。  
（丸子中学校及び丸子中央小学校で公演を予定していましたが、コロナ禍により中止しました。）
- ・指導用雅楽器の整備。（練習用 鳳笙、龍笛、箏各4管）
- ・10月18日、11月23日、令和3年1月1日：中丸子大国諏訪神社にて舞姫による「豊栄の舞」を披露しました。



信濃毎日新聞 10月19日に  
「豊栄の舞」披露の記事が  
掲載されました。

## 腰越ふしぎ発見探検隊 (腰越村記録の会)

事業費 397,038 円 補助金額 361,000 円 2/4 年目

### 事業の目的及び概要

腰越地区の歴史を調査研究して多くの方々に知っていただく。ガイドマップ・看板を造り、腰越の歴史名所を散策していただく。腰越村の古文書 1,500 点から調査研究したことや古地図、ドローンによる撮影写真を冊子 A4・140 ページに記載します。保育園児の探検隊、中学校の総合学習で腰越を学びます。

#### 設置した看板



### 事業の内容

- ・腰越の歴史名所の看板の設置。
- ・コロナの感染予防のために計画が大幅に減少したため、来年度計画を打ち合わせました。
- ・「ちびっこ探検隊」の活動を丸子修学館高校の保育志願の生徒が見守り隊となって歴史のムラを共に散策予定でしたが、コロナの影響により直前で中止になってしまいました。
- ・丸子中学校で腰越の歴史を総合学習で学ぶ計画を校長先生と打ち合わせしました。(丸子中学校の生徒に、腰越の歴史の事前学習、現地調査をまとめ発表する計画)

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・腰越地区の歴史の調査研究に対して、腰越地区の方々が関心と理解を示しています。腰越地区に初めてのガイドマップ、看板は腰越地区の誇りと喜びになり、また多くの関心が寄せられています。

#### 今後の取り組み

- ・地域の歴史を小中学校の児童・生徒に学習・発表してもらい、祖父母等広い範囲に発信を計画しています。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・腰越の歴史を古文書から学んだことをどのようにして上田全域に発信する大変さ、コロナ対策と重なったが、丸子テレビ、上田ケーブルビジョンの協力を得て可能な限り実行できました。

### 代表者のコメント

腰越地区の区長はじめ役員の方々、地区の方々が親身になってガイドマップ、看板設置と働いてくださり感謝しております。次は案内板と冊子作製です。

## 西内・平井地域歴史を学び伝える事業 (内村の歴史を学び伝える会)

事業費 70,518 円 補助金額 70,000 円 2/5 年目

### 事業の目的及び概要

当地域には史跡が数多くあり、それを後世に伝えるべき第一段として、後援会、及び発掘調査を行います。

### 事業の内容

- ・毎月一回定例会を開催、調査研究して原稿を作成しました。
- ・講演会はコロナのため中止。
- ・発掘調査は雪のため延期。

編集会議の様子



長者聞き取り調査の様子



### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・研究会は回を重ねるたび、原稿作成それに合わせて写真を選んだりし成果がありました。

#### 今後の取り組み

- ・来年度で発掘調査し、地域の歴史を印刷することが課題です。
- ・講演会やイベントを開催し、地域住民との親睦を深めながらそれに基づき記念イベントを実施していきたいです。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・コロナ禍のため、計画していたことが実現できませんでした。

### 代表者のコメント

コロナ禍のため計画していたことが実現できなかったのが残念です。

## 石舟地域の歴史遺産を活用した住民交流活性化事業(ふるさとづくり事業) (石舟自治会)

事業費 180,107円 補助金額 180,000円 3/5年目

### 事業の目的及び概要

石舟地域の歴史文化について学び、その内容を各種媒体にて地域内外に発信して、地域の魅力をアピールすることで、地域への郷土愛や愛着、誇り、連帯感を醸成して地域の魅力を再認識し、共有を図る。



縄文の暮らしを描いた大看板

### 事業の内容

#### ①「縄文の家」建築

縄文時代竪穴住居の「縄文の家」を雁石遺跡内の畑地に建築した。建築材料となる木材・竹・カヤは地元竹林や畑地より調達。材料の調達や建築は地元住民のボランティアにより行った。

#### ②縄文の家竣工記念イベントの実施

11月22日に縄文の家竣工記念イベントを実施し、古代民族音楽演奏会などを行った。

#### ③縄文衣装の制作、着用

縫製経験のある制作者に依頼して縄文衣装を制作。縄文の家竣工記念イベントで着用して披露。

#### ④縄文の家の説明看板、案内看板の制作、設置

#### ⑤縄文の暮らしを描いた大看板の制作、設置

手書きによるわかりやすい作画で制作し、設置した。

#### ⑥紙芝居の制作「フォーちゃんからもらった宝物」

縄文時代にタイムスリップした少年と縄文の女の子との交流を通して、縄文の暮らしを描いた作品。

#### ⑦史跡の整備事業

神社周囲の草刈りを実施。



縄文の家

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

・縄文に関わる事業が様々に実施できたことで、地域の注目を浴びることができ、地域への誇りと自信が醸成できました。また、多くの皆様のご理解とご協力のもとに、イベント、衣装制作、看板設置と一気に事業推進できたことは、地域発展の力や励みとなり、今後への期待が持てるものとなりました。

### 代表者のコメント

予定していた事業内容の変更により、縄文の家建築、イベント実施、看板設置を地域住民のボランティア協力で行ったことで、住民の交流が深まり、地域の活性化につながりました。



資料

## 令和2年度 実施事業 一覧表

(単位：円)

No.	地域	団体名	代表者	事業名	実施場所	事業内容	年目	事業費	補助額
1	全市	信州上田繭クラブ「繭友」	堀 美砂子	蚕・繭・真綿・紬・絹の普及活動	サントミュージゼ他	蚕都上田の伝統と文化を伝承することを目的とした事業で、繭・糸の面白さや美しさを体験していただくことで絹の伝統文化の再認識を目指す事業。今年度は市民向けの講習会を開催し、12月にサントミュージゼで展示会を開催した。	5/5	298,176	297,000
2	全市	アトム会	上原 榮治	手塚治虫氏のルーツを探り上田を再発見する事業	上田創造館	「漫画の神様」手塚治虫氏を顕彰するとともに、氏のルーツが上田にあること、「世界の手塚治虫」であることを周知し、地域の人々に郷土の愛着と誇りを持っていただくことを目的とした事業。今年度は、本を作成し、講演会を行うことで周知を図った。	2/5	567,230	567,000
3	全市	そらいろぱれっと	松井 浩子	いざというときのそらいろぱれっと事業	市内公民館	発達障がい等で困り感を持つ親子が気軽に相談できる環境を用意し、地域住民への理解啓発を行うことで、親子の孤立感を減らすことが期待される事業。毎月おしゃべり会を開催し、講演会や専門家による指導などに取り組んだ。	2/3	320,632	260,000
4	全市	上田プラスフェスタ実行委員会	高木 夏子	上田市民の音楽促進交流事業	サントミュージゼ	市内の管打楽器を演奏する小中高生や一般の愛好家、プロ奏者が一堂に集まり、音楽祭を開催することで、市民に吹奏楽や管打楽器の魅力を伝え、音楽を通じた地域交流を図ることを目的とした事業。普段音楽に関わりない方へも魅力を発信するきっかけを作る。今年度は参加型のコンサートを行った。	2/3	409,282	309,000
5	全市	うえだスマイルフェスタ実行委員会	武田 紗知	うえだスマイルフェスタ	サントミュージゼ	地域の身近な文化や世代間の交流ができる場を作ることを目的とした事業。	3/5	9,754	9,000
6	全市	ペルメルベイベ	竹内 梨恵	パパママ子どもたちが活き活き出来る地域作り	信州国際音楽村他	主に子育て世代を対象としたイベントや講演会を開催することで、育児不安を解消し、次世代に希望を持たせるような地域づくりに寄与する事業。今年度は子育て座談会を4回開催した。	5/5	37,101	30,000
7	全市	クラシック音楽に親しむ講座の会	和田 みどり	聴くよここび 知るたのしさ 名曲たちとの出会い～上田市民の「聴く文化」を育て、上田市の文化力をアップする～	サントミュージゼ	クラシック音楽に触れる機会を提供することで、市民の「聴く文化」を育み、文化力向上を目指す事業。サントミュージゼにて紙芝居を用いたクラシック音楽に触れるプレ企画を行った。	3/5	944,520	500,000
8	全市	柴崎高陽顕彰会	竹鼻 靖之	写真家柴崎高陽の世界と上田市の写真文化を伝える	市内公民館	上田市の写真文化の先駆者である柴崎高陽氏を顕彰し、写真を通して郷土に誇りと愛着心を育むことを目的とした事業。今年度は資料集を作成し、市内小中学校・公民館・図書館等へ配布した。	3/3	996,663	996,000
9	全市	信州上田北国街道振興会	池松 勇樹	北国街道を学び・歩き・伝えるプロジェクト	上田市内	街道を3エリアに分け、講座やまち歩きをしてマップを作成する。また、HPを通じて情報発信をおこない北国街道沿いの魅力の向上を目的とした事業。長野大学生と協力し、世代間交流を図り、歴史的な遺産を新しい価値と共に若者へ伝えることが出来る。今年度は塩尻・秋和地域を対象として活動した。	2/3	440,000	421,000

No.	地域	団体名	代表者	事業名	実施場所	事業内容	年目	事業費	補助額
10	全市	太郎山山系を楽しくつくる会	内田 守之	太郎山山系にある山城を知ってもらおう事業	村上連珠砦(砥石米山城跡～和合城跡)	・村上連珠砦(各山城跡)の探求と資料にあわせた整備 ・要所になる山城に通ずる登山道整備 ・要所になる山城跡の整備と看板設置 今年度は10月に「全国山城サミット上田・坂城退会」が開催され、全面協力した。	5/5	761,172	761,000
11	中央	押出川流域自治会連合会	山辺 勝行	市街地に復活したホテルを安全に見学できるインフラとホテル環境の整備	押出川流域	市街地に復活したホテルの発生場所の順路案内板や歩行注意看板を製作するなど、ホテルを安全に鑑賞できるインフラ整備をするとともに、ホテル都市上田の先駆者として保護活動を進める事業。	2/2	510,416	510,000
12	中央	神川・山本鼎の会	尾沢 敏春	山本鼎提唱100年「その歩みを未来へ伝える運動」	神川地区他	山本鼎の偉業を顕彰し、氏の考えと人間愛を次世代を担う青少年らへ伝え学ぶことにより、地域への愛着を育むとともに成長の一助とすることを目的とした事業。今年度は、山本鼎と熱き仲間たち「朗読と10弦ギター、コカリナ演奏会」の開催。また、神川地区での作品や資料の整理や日本農民美術研究所跡地への記念碑建立のための準備を行った。	4/5	372,223	338,000
13	西部	花いっぱい会	小山 智恵子	心がやすらぐ道づくり	国道18号常磐城バイパス側道	上田市の西の玄関口である国道18号上田バイパス側道の整備をし、美しい景観や咲く花を見た方の心の中に花を咲かせたい。近隣住民の憩いの場となり地域愛を育むことを目的とする事業。今年度は定期的に側道の維持管理などを行った。	2/3	596,899	595,000
14	西部	NPO法人健康サポートまごの手	斉藤 恵理子	運動・食・社会参加で元気西部!!	各自治会館	健康づくりの国際標準の運動・食・社会参加を取り入れた健康プログラムにより、介護予防・健康増進に取り組み、地域コミュニティの再生や活性化を図る事業。今年度はフレイル予防、生活習慣の見直し講座を行った。	2/3	130,784	130,000
15	城南	諏訪形誌刊行委員会	北沢 伴康	諏訪形誌刊行事業	諏訪形公民館	諏訪形自治会の歴史を地域住民へ伝承することにより、地域への愛着や一体感の醸成が期待される事業。今年度は10月に諏訪形誌を発刊し、記念講演会を開催した。	5/5	2,183,000	1,850,000
16	城南	千曲清流会	池田 信雄	地域の魅力発信と学びの場づくり事業	半過地区内	これからの地域の担い手とともに、地域への愛着を深め地域振興と活性への情熱を継続し次世代に繋げること、地域の観光資源のブラッシュアップによる更なる魅力アップと環境学習活動の継続及び学びの場の教育資源化を目的とした事業。今年度は、学びの場づくりとして蛍の自生水路づくり、かぶと虫の自然孵化場所づくりを行うほか、千曲公園の登山道整備などを行った。	2/5	93,480	93,000
17	神科・豊殿	金井若草文庫	堀内 文代	「金井自治会住民三世代が連帯感を持ち助け合えるための」事業	金井公民館	かつて戦後金井区でつくられた「若草文庫」の学習理念を復活させて、公民館の一角に新たな「若草文庫」を復活させたい。 地区内の三世代間の交流を図るため、郷土の歴史や川柳を学ぶ教室、子どもへの絵本の読み聞かせ(朗読)教室を定期的に開講し、年配者や母親と子どもが共に学びながら楽しめる機会を提供する。	4/5	139,797	139,000
18	神科・豊殿	金剛寺自治会	唐澤 弘二	高齢化社会に荒廃里山を活用し健康寿命を延ばす魅力ある地域づくり	金剛寺区内	風倒木で荒廃した里山を整備し、広場や運動場(ゲートボール場など)を造成し、周辺に丸太ベンチ(風倒木で作る)、桜、紅葉など植え休息施設を備えた「木陰の広場・運動場・休憩所」を整備し継続的に事業を計画して活動する。	2/2	300,620	280,000



No.	地域	団体名	代表者	事業名	実施場所	事業内容	年目	事業費	補助額
19	神科・豊殿	矢沢城跡さくら会	東山 隆志	「矢沢城跡公園整備と地域活性化」事業	矢沢城跡公園、矢沢自治会	矢沢城跡公園のさくらを題材に「矢沢城跡さくら祭り」を開催することで桜の名所を復活させ地域の活性化とPRを図りたい。	5/5	72,999	72,000
20	神科・豊殿	豊殿ふれあいサロン運営委員会	神林 芳久	ふれあいサロン 地域住民の交流の場づくり事業	ふれあいサロンhinata bocco とよさと	地域住民の「ふれあい、語り合い、支え合い」の場、交流の場を提供する事業として「ふれあい広場」事業を実施する。	2/5	105,546	105,000
21	神科・豊殿	岩門自治会	香山 年和	岩門城跡整備事業	上田市古里字本城地籍	古来からの言い伝えの岩門城跡については、自治会内に研究所を立ち上げ平成31年4月市教委の協力で試掘を行い城跡を確認された。この結果を受けさらに調査を進め地域遺産として後世に伝えると共に自治会内の活性化に役立てる。	2/2	981,820	715,000
22	神科・豊殿	伊勢崎城跡復興会	佐藤 和男	伊勢崎城跡の整備並びに神科東部観光ガイドマップの刊行及び活用	伊勢崎城跡及び神科地域	伊勢崎城跡は、虚空蔵山通称カニコ山の山頂、神川と砥石城近くに位置する戦国時代の山城跡である。伊勢崎城の周辺環境を整備し、昔の姿を明らかにし、併せて神科東部の観光ガイドマップ等を刊行・頒布しトレッキングを実施する。もって、広く伊勢崎城跡を顕彰し神科全域の観光ルートの開拓を図る。	2/2	1,167,100	1,124,000
23	塩田	NPO法人 うえだミックススポーツクラブ	荒川 玲子	塩田地域 生涯健康いきいき事業	塩田自然運動公園、あいそめの湯	1 ピックルボール 2 ゆる〜いバスケットサークル 3 フットサル 4 太極拳 上記スポーツの実施	4/5	291,077	142,000
24	塩田	十人自治会	広瀬 順一	十人ふれあい公園整備	十人旧公民館敷地とその周辺	旧公民館跡地と新公民館隣接地を「十人ふれあい公園」として整備する。	3/3	106,092	100,000
25	塩田	塩田平のため池を愛する会	中村 保人	信州の鎌倉・塩田平ため池群魅力アッププロジェクト	サントミュージゼ・舌喰池・とっこ館他	長野県で初めて開催される全国ため池フォーラムは、官民一体となった招致活動が実を結び、来年秋に上田市で開催される。全国から集まる参加者のため池と塩田平の様々な魅力をアピールし、宿泊・交流人口を増やし地域の活性化につなげることを目的とする。	2/4	351,484	350,000
26	塩田	石神自治会	龍野 巖	歴史の径整備と石神150年史の作成事業	上田市古安曾西山地籍	初年度は「石神150年史」基礎資料調査、原稿作成、地域内有識者検討会、印刷会社との打ち合わせして製本完成させる。次年度以降は産業振興の神「蚕影神社」、地域の安全を司る「六柱神社」のお祭りでにぎわった当時を再現し、地域住民の「憩いの場・交流の場」を計画し、それらをつなぐ歴史の径整備を実施する。	2/5	443,500	300,000
27	塩田	柳沢自治会	宮原 喜久男	手洗池の魅力アップ事業	手洗池	手洗池の堤体斜面に生育する山野草の保全活動及び手洗池の堤体上の整備される遊歩道・ウォーキングコース整備	2/4	226,180	226,000

No.	地域	団体名	代表者	事業名	実施場所	事業内容	年目	事業費	補助額
28	塩田	保野歴史研究会	保屋野 義雄	保野地域内の景観と花、史跡を巡る遊歩道、散歩道のモデルコースを選定し、コース周辺に案内板、標柱等を設置し整備を進める事業	保野	保野内の景観・草木・花木・史跡などをピックアップし、それらをつなげモデル遊歩道を作り、「保野の景観・草木・花木・史跡ガイドマップ」(仮称)をつくる。 ピックアップした場所に、案内板、標柱、ミニ看板などを立て花木には名札を付ける。健康増進に繋がる散歩、楽しさが増す自然観察の仕方などの現地指導や講演など開催し、インストラクターや歴史研究者の指導を受ける。今ある合歓木街道、花桃、桜、簗りんどう、蓮の花、ヒガンバナ、キランソウ、オカトラノオ、蛍、老人会が栽培する花壇等の保護、保全充実を関係協力団体と共に進める。	2/4	121,339	100,000
29	川西	川西里山ぐらし	増田 資彦	「農村体験」交流事業	川西地区全域	・地元小学校と提携し、地元小学生の「農村体験」を実施する。 ・受入家庭を増やす学習会の開催。 ・農家民泊をさらに浸透させるための講演会の開催。	5/5	22,958	22,000
30	川西	NPO法人うるわしの里	小泉 寿彦	古民家を活用する里山ぐらし体験交流事業	川西地域	古民家の穀屋(歴史的遺産)を活用して里山ぐらし体験及び郷土食を学ぶ講習会を通じて、都市、諸外国と地域の交流をはかり地域の活性化を目指す。	4/5	240,000	191,000
31	川西	越戸自治会	関 恵滋	越戸日向山等里山整備と里山保全活動	越戸地区内	・日向山の里山整備 ・共同作業による竹やぶ整備モデル事業の実施 ・樹木粉碎機の貸し出し ・竹チップ堆肥の農地活用の研究	3/5	106,044	93,000
32	丸子	中丸子歴史研究会	宮入 命	シルク繁栄今昔物語事業	中丸子地区	江戸時代から現在までの養蚕・紡績業までの記録を広い地域から収集し、その歴史を冊子にまとめ、散逸し消えてしまう恐れのある歴史的記録を後世に引き継ぐ。	5/5	1,547,949	1,451,000
33	丸子	石井夏祭り実行委員会	柳沢 秀雄	子ども相撲&盆踊り地域交流事業	塩川地区	伝統行事の「盆踊り」と「子ども相撲大会」の2つの事業を「夏祭り」として同時開催し、子どもからお年寄りまで幅広い世代間の交流、心の交流を行いながら伝統文化を次世代に継承する。また自治会活動や魅力ある地域づくりへの参加の機運を高める。	5/5	83,198	83,000
34	丸子	上田市防災士等連絡協議会	西藤 直義	上田地域防災・減災対策自助事業	丸子地域全域	災害ハザードマップを参考に、近年多発傾向にある局所的豪雨や牛伏寺断層を震源とする地震に備えるため、身近な場所にある危険箇所を把握し、地域住民に周知する。また専門家による講演や研修会を開催し、自助に係る防災技量のレベルアップが期待できる。	4/5	218,809	218,000
35	丸子	雷電為右衛門実行委員会	阿原 孝之	雷電為右衛門学び舎の郷(長瀬村)	長瀬地区	カチ・雷電は実像として怪力ばかりが強調されるが、相撲のほか直筆文や記録書類から極めて高い学識を身に着け文武両道であった。旧長瀬村の石尊の辻や寺で過ごした期間をまとめ、これらの歴史を共有・伝承し、地域の愛着を深める。	3/3	168,125	168,000
36	丸子	「深山古民家コンサート」を支援する会	藤原 容子	深山古民家コンサート事業	腰越地区	肩肘張らず気楽な雰囲気の中、地域の皆さんをはじめ大勢の市民の皆さんと、質の高い音楽や芸能・合唱等を楽しみながら、子どもから年配の方まで世代間・地域間の絆づくりや交流を行い、文化の薫る地域を目指す。	3/5	290,234	290,000

No.	地域	団体名	代表者	事業名	実施場所	事業内容	年目	事業費	補助額
37	丸子	辰ノ口竹林活性化プロジェクト	須長 弘二	荒廃竹林の活性化事業	辰ノ口	現在、里山や竹林は荒廃が進み、自然環境が破壊されている。この現状の改善と、伐採した竹を使ったミニ門松やおもちや等を子ども達と一緒に作製し、青少年の健全育成および伝統文化を継承していく。	3/5	114,371	109,000
38	丸子	塩川地区地域づくりの会	滝沢 信幸	歴史と未来あふれる塩川地区の魅力を再発見・発信する事業	塩川地区全域	地域にあるたくさんの資源の掘り起こし・洗い出しを行い、看板やマップを作製し、その由来などを再認識し次世代に伝える。また地域の絆を深め、陣場台地(ワイナリー等)を訪れる皆さんにも地域の魅力を発信し、地域活性化を図る。	3/5	70,000	70,000
39	丸子	ゆうあいまるこ	成澤 みつ子	外国籍住民と共に防災、減災を考える	丸子ボランティア地域活動センター	丸子地域に在住在勤の外国人住民に向け、避難所で使える「やさしい日本語の指さしハンドブック」の作成や、「防災講座」の開催などを行い、防災の知識・共助への理解を促し、外国人住民を地域防災のパートナーとして社会参加を促す。	3/5	226,139	226,000
40	丸子	雅楽の魅力を広める会	依田 幸紀	雅楽の魅力紹介事業	丸子地域小中学校ほか各地域イベント会場	将来を担う小中学校の児童・生徒に雅楽の魅力を伝承するため、学校と連携しながら、雅楽の演奏や実際に楽器に触れながら広く紹介していく。また、小中学生を対象に舞姫の養成を継続的にいき、古典芸能の伝承や、地域の活性化を図る。	2/3	1,056,527	760,000
41	丸子	腰越村記録の会	香山 知加子	腰越ふしぎ発見探検隊	腰越地区	腰越の歴史は、丸子地域の村や町のおこりを知るうえで貴重なものであるため、地域住民に腰越の歴史について学んでもらい、学習したことを冊子にまとめ記録として残し後世に伝えていく。また、事業で作製した冊子を使った読書会や、マップ・看板を使った史跡巡りのウォーキングを開催し、地域外からの参加者と住民との交流をはかる。	2/4	397,038	361,000
42	丸子	内村の歴史を学び伝える会	池内 宣訓	西内・平井地域歴史を学び伝える事業	西内・平井地域	西内・平井地域の歴史や史跡にまつわる講演会やイベントを開催し、地域住民の親睦を図るとともに、ふるさとの歴史を後世に伝える。	2/5	70,518	70,000
43	真田	石舟自治会	小田 卓資	石舟地域の歴史遺産を活用した住民交流活性化事業(ふるさとづくり事業)	石舟自治会周辺	石舟地域の歴史文化について学び、その内容を各種媒体にて地域内外に発信して地域の魅力をアピールすることで、地域への郷土愛や愛着、誇り、連帯感を醸成して地域の魅力を再認識し共有を図る。	3/5	180,107	180,000

## これまでの補助実績

制度改正前（平成 20～24 年度）

項目	内 容	
事業名	個性あるふるさとづくり応援事業	特色あるまちづくり応援事業
対象者	市内 240 自治会・26 地区自治会連合会	5 人以上でまちづくりを行う市民活動団体
対象事業	地域の自然環境・景観・歴史・文化・民俗芸能などの資源を掘り起こし、地域の価値を高め、創出することにより、ふるさとに誇りや夢を持ち、コミュニティの活性化と地域の一体感の醸成に寄与する継続性のある事業	まちづくりに熱意やアイデアを持つ市民活動団体が、地域の課題の解決や世代間・地域間交流を目的に参加者を限定せずに行う上田市の魅力アップに寄与する事業
補助限度額	150 万円	100 万円
補助率	補助対象経費の 10/10 以内	補助対象経費の 10/10 以内
補助期間	5 年以内	2 年以内

※H20～24 の実績は“個性あるふるさとづくり応援事業”“特色あるまちづくり応援事業”の合算となっております

制度改正後（平成 25 年～） ※現在の制度です。

項目	内 容
対象者	自治会（複数の自治会で連携した取組も可能）、自治会連合会 5 人以上の市民で構成される市民活動団体
対象となる事業	自治会や各種市民活動団体等が地域課題の解決や地域の活性化に資するため自主的・主体的に取り組む継続性のある事業
補助限度額	200 万円
補助率	補助対象経費の 10/10 以内
補助期間	5 年以内（補助総額 200 万円以内）

地域協議会	平成 20 年度			平成 21 年度			
	申請件数	実施件数	補助金額	申請件数	実施件数	うち新規件数	補助金額
上田中央	6	4	877	11	10	7	4,578
上田西部	3	3	2,301	5	4	3	2,411
上田城南	5	5	1,987	11	11	6	3,320
神科・豊殿	6	6	4,390	8	8	3	4,398
塩田	9	9	5,630	13	10	4	3,563
川西	3	3	1,548	5	5	3	2,881
丸子	16	16	5,123	23	18	6	6,443
真田	5	5	3,049	9	8	4	3,890
武石	4	4	1,168	7	7	5	2,359
正副会長会 (全市域)	9	8	4,269	29	20	16	11,812
小計	66	63	30,342	121	101	57	45,655

(単位：千円)

地域協議会	平成 22 年度				平成 23 年度			
	申請件数	実施件数	うち新規件数	補助金額	申請件数	実施件数	うち新規件数	補助金額
上田中央	12	9	2	3,940	11	10	4	3,141
上田西部	6	4	1	1,187	5	4	2	943
上田城南	15	13	4	5,902	8	7	2	5,065
神科・豊殿	12	12	8	8,325	7	7	1	2,904
塩田	13	10	2	4,170	13	12	4	6,590
川西	9	9	6	4,893	8	8	2	3,465
丸子	14	12	2	5,653	12	9	1	2,916
真田	10	10	6	6,109	12	9	4	4,875
武石	8	8	2	3,453	10	9	3	3,341
正副会長会 (全市域)	22	17	8	7,591	12	6	2	2,319
小計	121	104	41	51,223	98	81	25	35,559

(単位：千円)

地域協議会	平成 24 年度				平成 25 年度			
	申請件数	実施件数	うち新規件数	補助金額	申請件数	実施件数	うち新規件数	補助金額
上田中央	12	10	5	5,449	18	9	4	4,677
上田西部	5	5	1	2,036	7	6	1	2,844
上田城南	8	8	5	5,204	11	10	5	10,614
神科・豊殿	9	9	6	6,308	12	12	4	10,066
塩田	10	10	5	4,218	19	18	11	11,854
川西	7	7	2	3,384	14	13	6	9,581
丸子	8	8	2	3,278	14	12	10	7,958
真田	7	7	2	3,160	9	6	1	3,090
武石	10	9	3	2,617	10	9	2	3,669
正副会長会 (全市域)	13	8	6	4,530	26	18	13	9,549
小計	89	81	37	40,184	140	113	57	73,902

(単位：千円)

地域協議会	平成 26 年度				平成 27 年度			
	申請件数	実施件数	うち新規件数	補助金額	申請件数	実施件数	うち新規件数	補助金
上田中央	8	5	1	1,752	18	11	6	7,479
上田西部	5	4	1	1,177	5	4	1	926
上田城南	4	4	1	3,542	4	3	2	4,262
神科・豊殿	9	8	2	5,166	10	10	5	8,608
塩田	21	19	4	7,647	17	16	1	5,519
川西	13	12	2	4,092	7	7	1	1,156
丸子	17	16	5	9,732	23	21	5	9,346
真田	9	6	1	1,727	11	11	6	4,932
武石	6	5	1	1,598	5	5	1	1,489
正副会長会 (全市域)	27	23	12	15,416	43	36	19	23,619
小計	119	102	30	51,849	143	124	47	67,336

(単位：千円)

地域協議会	平成 28 年度				平成 29 年度			
	申請件数	実施件数	うち新規件数	補助金額	申請件数	実施件数	うち新規件数	補助金額
上田中央	11	10	5	4,127	8	8	1	2,955
上田西部	2	2	1	462	2	2	0	739
上田城南	6	5	3	2,328	6	6	1	3,617
神科・豊殿	10	10	3	4,938	10	10	2	4,541
塩田	14	13	1	5,382	12	12	3	5,254
川西	7	7	2	3,790	8	8	1	1,599
丸子	22	22	6	10,719	21	21	6	9,816
真田	10	10	2	5,117	8	8	1	3,371
武石	4	4	1	1,231	3	3	0	1,204
正副会長会 (全市域)	40	33	6	13,052	36	34	5	12,667
小計	126	116	30	51,146	114	112	20	45,763

(単位：千円)

地域協議会	平成 30 年度				令和元年度			
	申請件数	実施件数	うち新規件数	補助金額	申請件数	実施件数	うち新規件数	補助金額
上田中央	7	5	1	468	5	5	1	2,680
上田西部	2	2	0	611	6	4	2	1,297
上田城南	4	4	1	2,405	3	3	1	1,159
神科・豊殿	11	11	5	4,830	15	15	5	11,654
塩田	12	10	5	7,028	14	11	5	5,180
川西	6	5	1	3,743	5	4	0	712
丸子	27	24	7	10,299	23	20	3	6,843
真田	9	9	4	4,910	8	8	0	3,305
武石	2	2	0	899	2	1	1	275
正副会長会 (全市域)	26	22	4	7,137	23	22	6	9,065
小計	106	94	28	42,330	104	93	24	42,170

(単位：千円)

地域協議会	令和2年度		
	申請件数	実施件数	補助金額
上田中央	4	2	848
上田西部	3	2	725
上田城南	2	2	1,943
神科・豊殿	8	6	2,435
塩田	10	6	1,218
川西	3	3	306
丸子	14	11	3,806
真田	3	1	180
武石	1	0	0
正副会長会 (全市域)	12	10	4,150
小計	60	43	15,611

※新規事業は終了しました。



## わがまち魅力アップ応援事業 事務局一覧

事業実施地域	選考機関	問合せ先	電話番号
上田市全域	地域協議会正副会長会	市民参加・協働推進課	0268-75-2230
上田中央地域	上田中央地域協議会	中央公民館または 市民参加・協働推進課	0268-22-0760
上田西部地域	上田西部地域協議会	西部公民館または 市民参加・協働推進課	0268-27-7544
上田城南地域	上田城南地域協議会	城南公民館または 市民参加・協働推進課	0268-27-7618
神科・豊殿地域	神科・豊殿地域協議会	豊殿地域自治センター	0268-35-2939
塩田地域	塩田地域協議会	塩田地域自治センター	0268-38-3000
川西地域	川西地域協議会	川西地域自治センター	0268-75-5840
丸子地域	丸子地域協議会	丸子地域自治センター 地域振興課	0268-42-1011
真田地域	真田地域協議会	真田地域自治センター 地域振興課	0268-72-2202
武石地域	武石地域協議会	武石地域自治センター 地域振興課	0268-85-2824

# 上田市

## 活力あるまちづくり支援金

令和2年度 事例集



上田市

はじめに

# 活力あるまちづくり支援金の概要

## 活力あるまちづくり支援金の補助制度について

活力あるまちづくり支援金は、市民の参加と協働による自治の推進や活力ある自立した地域社会の実現を図るため、市民活動団体の皆さんが地域の活性化やまちづくりに向けて自主的・主体的に取り組む地域の活力や魅力を生み出す活動に対して市が支援する補助制度として令和2年度にスタートしました。

事業の採択に際しては、上田市活力あるまちづくり支援金審査委員会において、公益性や継続性等の観点から審査を行っていただいております。令和2年度には3件の申請があり、うち2件の事業が実施されました。

### ◇制度概要

項目	内容
対象者	5人以上の市民（市内在住・在勤・在学）で構成され、市内で公益活動を行う市民活動団体
対象となる事業	原則として市内全域において、市民活動団体が市民とともに、地域の活性化やまちづくりに向けた自主的・主体的に取り組む不特定多数の市民を対象とした公益性のある事業（ソフト事業のみ）
補助限度額	上限30万円/年（下限5万円/年）
補助率	補助対象経費の3/4以内
補助期間	3年以内（補助総額90万円以内）

### ◇対象外となる主な経費

- 団体、施設の運営費及び経済的な事業に要する経費、構成員の人件費、謝礼、教材費等
- 不動産の取得費、公租公課の経費（消費税及び手数料を除く）
- 食糧費、弔慰金、見舞金、香典、玉串料
- 特定の事業、研修を行う者に対する助成金（入場料、資料代、交通費等）
- 行事参加者への記念品（商品券、乗車券、入場券）等

### ◇対象外となる主な事業

- 申請団体の構成員のみの活動にとどまる事業
- 主に特定の企業、団体及び個人の利益を追求するための事業
- 単一の地域（特定の住民自治組織の設置単位に係る地域）のみを対象とする事業
- 過去にわがまち魅力アップ応援事業補助金の交付を受けた事業と同一内容の事業



# 实施事例



## 乙女が編む「うえだ乙女百人一首」で、地元上田の活力アップ応援事業 (うえだ乙女)

事業費 285,450 円 補助金額 214,000 円 1/3 年目

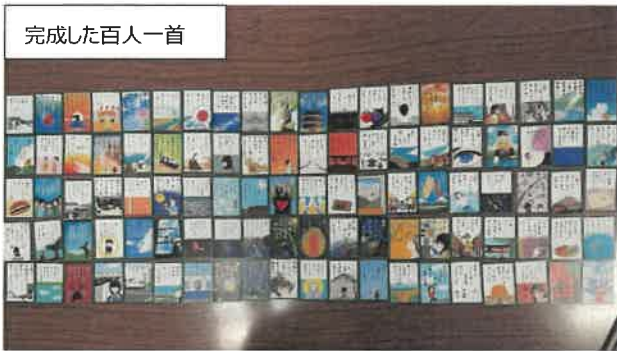
### 事業の目的及び概要

上田に関することを詠った短歌の百人一首を作成し、地域の中学校へ配布することで、百人一首という遊びをととして上田の魅力を再発見し、上田という地に更に親しみをもつきっかけとする。また、台風 19 号の被害やコロナ禍という逆境の中に在る今、「ことばの力」をもって地域の方々を元気づけたい。

### 事業の内容

上田女子短期大学と上田西高等学校が共催している「うえだ七夕文学賞」の短歌作品の中からと学生である私たち「うえだ乙女」が、上田に関する短歌や女性（乙女）が詠んだ短歌、詠むことで元気が出るような短歌を 100 首選出し、「想い・希望・祈り」をテーマとした令和版百人一首を編みました。  
その後、カルタのイラストや文字をデザインし、完成品を市内の中学校へお届けしました。

完成した百人一首



読み札デザインの様子

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

・8月の夏休み期間から短歌の選出を始め、10月頃より読み札のイラスト、文字製作を行ない、翌年2月に完成した。3月に上田市内の中学校へアポイントを取り、中旬にはメンバーで分担し配布を行い、大変喜んでいただきました。

#### 今後の取り組み

・来年度は2021年6月に100周年を迎える上田電鉄と「100周年と100首」をかけたコラボレーション企画を行う予定です。また、作成した百人一首をもとに、百人一首大会などのイベントを開催することで、より多くの上田地域の方々が交流できるような機会をつくりたいです。さらに、配布先を中学校だけでなく小学校、高校、公共施設等へも広げたいと考えています。

#### 苦労した点、工夫した点

・約9,000首の作品の中から短歌を選出するのはとても時間がかかり、シフトを組んだり分担したりして作業を行いながらやり方も試行錯誤しました。また、文字にミスがないよう二重チェックを行いました。  
・カルタの製作では、「イラスト班」「文字班」に分かれ、密に連絡を取りながら作業を進めました。特にイラストはサイズや画質、他のイラストとの画角被りにより何度もリメイクを行いました。

### 代表者のコメント

私たちが心を込め選んで、心を尽くしてカルタにした百人一首です。うえだ乙女百人一首で楽しんでくださった皆さんに「上田っていいところだな」「もっと上田を知りたい！」と思っていただき、これから生きていく力となってくだされば幸いです。

## 地域こども ICT 活性化推進プロジェクト (こども ICT 活性化推進委員会)

事業費 402,090 円 補助金額 300,000 円 1/3 年目

### 事業の目的及び概要

COVID-19 により、GIGA スクール構想などの学習機会のオンライン化が急速に勧められています。学習のオンライン化には、ICT 端末の使用が必要不可欠です。端末を用いた一連の動作を経験することを通じて地域の子どもたちのオンライン学習への橋渡しを行うことを目的としています。上田市内での公民館等で出前講座を行うことで目的達成を目指します。

### 事業の内容

タブレット端末を用いた学習やプログラミング体験及び、Zoom などを用いたオンラインコミュニケーション等を通じて、プログラミング的思考を育むとともに、ICT 端末を用いた学習への順応を促進させる。

1 か月に 2 回程度の間隔で上田市内の公民館等にて出前講座を行いました。



体験会の様子



iPad を使った絵描き & プログラミング体験

### 事業の成果、今後の取り組みなど

#### 成果

- ・当初の目標である 180 名には届かなかったが、約 90 名の小学生に ICT 学習体験を提供でき、楽しかった、またやりたいなどの感想を多くいただき、ICT に対するポジティブなイメージを持っていただくことができました。
- ・各講座では、プログラミング体験や ICT 教材の体験を行いました。

#### 今後の取り組み

- ・市内全ての小学生を対象を広げることや、事業として成立させるための収益源の模索をしていきます。

#### 苦労した点、工夫した点

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で人数が集まりづらく、また料金設定をした際にはほとんど人が集まりませんでした。

### 代表者のコメント

ICT 教育の普及活動には一定の効果があったと感じています。一方で、事業として成立させるためにはさらに工夫が必要だと感じました。



# 資料



## 令和2年度 実施事業 一覧表

No.	団体名	代表者	事業名	実施場所	事業内容	年目 (最大3年)	事業費	補助額
1	うえだ乙女	関口 優美	乙女が編む「うえだ乙女百人一首」で、地元上田の活力アップ応援事業	上田女子短期大学	上田に関することを詠った短歌の百人一首を作成し、地域の中学校へ配布することで、百人一首という遊びをとおして上田の魅力を再発見したり、上田という地に更に親しみをもつきっかけとなる。また、台風19号の被害やコロナ禍という逆境の中に在る今、「ことばの力」をもって地域の方々を元気づけたい。	1	285,450	214,000
2	こどもICT活性化推進委員会	小倉 大祈	地域こどもICT活性化推進プロジェクト	市内公民館	COVID-19により、GIGAスクール構想などの学習機会のオンライン化が急速に進められています。出前講座を各公民館において行い、ICT端末を用いた一連の動作を経験することを通じ、地域の子どもたちのオンライン学習への橋渡しを行うことを目的とする。	1	460,878	300,000

### これまでの補助実績

【令和2年度】

(単位:千円)

申請件数	実施件数	補助金額
3	2	514

わがまち魅力アップ応援事業  
活力あるまちづくり支援金  
令和2年度事例集

---

上田市章



令和3年12月

編集／ 上田市 市民まちづくり推進部 市民参加・協働推進課  
上田市大手一丁目11番16号  
TEL: 0268-75-2230 FAX: 0268-22-4130

---